



東 広 島 市 の

環 境 活 動



(環境活動事例集)

～2015年(平成27年)版～



豊栄

志和

福富

河内



八本松



黒瀬

安芸津



東広島市

～はじめに～

東広島市内の環境保全の取り組みがわかる冊子です。

東広島市では、平成24年度に東広島市環境基本計画（以下「環境基本計画」という。）がスタートしました。環境基本計画では、本市が目指す21世紀半ばを目標とする東広島の3つの将来像を掲げ、それぞれの将来像を達成するために様々な取り組みの展開（テーマ）を設定しています。

本冊子では、これらのテーマごとに、市・市民・事業者が市内で行っている様々な取り組みを紹介しています。

取り組みのテーマは目次にあるとおり、全部で19個。自然・生物、地球温暖化、環境教育など、幅広い分野にわたっているポン！



環境リーダーの紹介もあります。

東広島市には、いろんな分野の環境の専門家が数多くおられます。その中には、いろんな地域に向いて、環境活動のノウハウを伝える活動をしている方も多くおられます。

この冊子では、そのような方々を「環境リーダー」として紹介しています。もし、興味のある分野の「環境リーダー」の方がおられましたら、「環境学習」を受講することも可能ですので、ぜひご覧ください。



野鳥観察、省エネ、シバザクラの植栽など、様々な「環境リーダー」の情報が紹介されているポン！

地域での取り組みの参考としてもご利用ください。

近年、各家庭や地域単位でも、環境保全の取り組みが広がっていますが、「こんなことがやりたい」という思いがあっても、何から始めればよいかわからない方も少なくないのではないのでしょうか。本冊子には、市だけではなく、市民や事業者の皆さんの取り組みを多く掲載しています。環境基本計画で設定したテーマごとに取り組みを掲載していますので、皆さんのお住まいの地域でもできそうな取り組みがあれば、参考にされてください。

参考になる情報がたくさん詰まっているよ。もしかしたら、今まで気づかなかった身近な環境活動の情報も見つかるかもしれないポン！
さあ、目次から面白そうな情報を探して見てみよう！





トピック！！

AQUA SOCIAL FES!! 2015 (アクア ソーシャル フェス) in 竹仁地区



竹仁の自然環境を守ろう！！

かつてはホタルや淡水魚が豊富だったという清流で、日本でも珍しい“魚塚”がある竹仁地区。

「ホタルの飛翔する環境に戻す」、「親水環境を整える」をテーマにした町づくりと竹仁地区の自然環境保全のため、河川の水生物などを確認する川探検や清掃活動、活動拠点の整備などを行いました。



130名以上の参加者



地域とボランティアの一体化

竹仁地区からの参加者50名が中心となり、河川敷の草を刈り、刈った草を広島県内、遠くは愛知県から参加していただいた70名のボランティアの皆さんが集めました。

3人一組の「川探検チーム」も編成され、竹仁地区に初めて訪れた方々も「沼田川」の水生物を観察しました。

川探検で捕れた川の水生物は30種300匹以上。シマドジョウやカエル、サワガニ等、多種多様な生き物を確認することができ大人も子供も大喜びでした。



清掃活動



アースバッグハウス

竹仁地区の活動シンボル拠点となる、土のうを積み上げて造る「アースバッグハウス」の設置を広島大学の留学生たちが企画しており、建設に先立ち地鎮祭を執り行いました。



川探検チーム

「AQUA SOCIAL FES (アクアソーシャルフェス)」とは？

トヨタが2012年から実施する環境保全プログラム。小型ハイブリッド車「アクア」の車名にちなみ、「水」をテーマに地域を巻き込んだ参加型の環境保護活動を全国47都道府県で展開。3年間で延べ344回実施し、3万4000人以上が参加しました。





詳しい取り組み内容は、46ページに掲載されているポン！

トピック！！

豊栄小学校

こどもホタルレンジャー 環境大臣賞受賞！！

「こどもホタルレンジャー2015」の発表大会（環境省主催）が平成28年2月13日に東京都で開催され、豊栄小学校が行っている、国の特別天然記念物・オオサンショウウオを守るための活動が、環境大臣賞（最優秀賞に相当）を受賞しました。



地域の宝物を守るために

豊栄小学校は、広島大学、地域の企業、オオサンショウウオの保全活動団体や行政と連携しながら、平成26年度から様々な学習や活動を実施しています。オオサンショウウオについて知識を深めることや、「自分たちができることは何か」を考えています。

オオサンショウウオは、トキやイリオモテヤマネコなどと同じ特別天然記念物で、中国地方を中心とした西日本に分布しています。広島県内で自然繁殖が確認されているのは豊栄町だけですが、繁殖地が続いていくには解決せねばならない課題が数多くあることを、学習を通じて知りました。

豊栄の豊かな里山の自然と、児童や活動に参加している方々の「オオサンショウウオを守りたい」という思いが実り、表彰された学習活動です。



東広島市から2年連続の環境大臣賞

昨年度は、吉川小学校の活動が環境大臣賞に選ばれています。東広島市からは2年連続の受賞となりました。



発表の様子



表彰式後に丸川環境大臣と



学習会を行った後の記念撮影

「こどもホタルレンジャー」とは？



環境省が、ホタルや水辺の生きものたちの観察などを通じて、水環境の保全活動や体験活動を行う子どもたちを、地域の水辺を守るリーダーとして任命するものです。

環境省では、毎年、全国の「こどもホタルレンジャー」の様々な取り組みを公募して、特に優れた取り組みを行っている団体を表彰しています。

東広島市の環境（取り組みの報告編）

目次

～東広島市で行われた環境保全に関する取り組みの紹介～

トピック AQUA SOCIAL FES!!2015 in 竹仁地区

トピック 豊栄小学校 こどもホタレンジャー 環境大臣賞受賞!!

I 東広島市環境基本計画の取り組みの体系について 1

II 重点プロジェクトの展開 3

将来像 1 豊かな自然と共生した快適に暮らせるまち

重点プロジェクト 1 里地里山・田園・里海の保全・活用プロジェクト 5

- ・出前講座による啓発 <市 環境対策課>
- ・～コラム～ 出前講座を受けてみませんか?
- ・田植え・稲刈り体験 <農事組合法人さだしげ>

① 人との関わりが深い自然環境の保全 7

- ・海域・海岸清掃活動 <安芸津漁業協同組合・早田原漁業協同組合>
- ・エコファーマー制度・環境保全型農業直接支払対策事業 <市 農林水産課>
- ・シバザクラなどによる景観形成活動 <千足池水利組合>

② 自然とのふれあいの推進 9

- ・ふるさと郷田の里山を大切に 心に残る植樹（東広島市森づくり事業） <ふるさと郷田の里山を育てる会・郷田小学校・賀茂地方森林組合>
- ・竹林寺山道整備 <you 愛 sun こうち・広島大学 学生ボランティア団体 OPERATION つながり>
- ・東志和小学校みどりの少年団 <東志和小学校>
- ・芋ほり体験 <宇山地域センター>
- ・つつじの里づくり <テ・ベッソ>
- ・桜並木の定植・管理 <若芝会>
- ・「見上げてごらん夜の星を♪」観望会開催 <見上夜星実行委員会>

③ 生物多様性の保全 13

- ・希少生物の保全活動 <住民自治協議会 四季の里 宇山>
- ・自然散策道「発見の小径」 <広島大学総合博物館>
- ・文化財基礎調査事業 <市 文化課>

④ 市街地の緑の保全と整備・創出 15

- 地区計画による緑化推進 <市 都市計画課>
- 御園宇新町公園の維持管理 <御園宇小学校区住民自治協議会>
- 黒瀬川沿いの維持管理 <米満に桜を植える会>
- 彼岸花の里づくり <上戸野地区住民自治協議会>

⑤ 歴史・文化的資源と歴史的な町並みの保全・活用 17

- 志和堀の「宝」再発見 <志和堀小学校住民自治協議会>
- 安芸国分寺歴史公園の整備 <市 文化課>
- 風早を紹介するパンフレット作成 <風早自治協議会>

⑥ 潤いのある市街地景観の創出 19

- 高屋堀団地のフラワーロード <高屋堀団地・花壇作り同好会>
- 「磯松 花咲かせ隊」活動 <磯松中学校>
- フラワーロードの整備 <中組地区社会福祉協議会
(中組平成会・なでしこ会) >
- 豊栄町内花いっぱい運動 <豊栄中学校>

⑦ 健全な水質と水循環の確保 21

- 水質改善モデル事業 <市 環境対策課>
- 下水道の普及啓発 <市 下水道管理課>
- 竹炭を使った水質浄化 <吉川村づくり推進委員会>

⑧ 水辺環境の保全とふれあいの創出 23

- ホタルの里づくり <上戸野地区住民自治協議会・
リコージャパン株式会社>
- 椋梨川河川敷の石拾い <広島大学 学生ボランティア団体
OPERATION つながり>
- 親子ふれあい川遊び <自治組織ふれあいの里戸野>

⑨ きれいな空気や静かな環境等の保全 25

- 悪臭防止法に係る規制地域の指定等の導入 <市 環境対策課>
- 野焼き防止対策（ダイオキシン対策を含む。）に関すること <市 廃棄物対策課>
- ～コラム～ 広島県内の大気の状況をチェックしてみよう！

将来像2 身近な取り組みから地球環境保全に貢献するまち

重点プロジェクト 2 資源循環・エネルギー有効利用プロジェクト 27

- ・「グリーンエコ入野」活動 <入野小学校>
- ・ごみ減量化及び資源化の推進 <市 廃棄物対策課>
- ・～コラム～ ごみの減量について考えてみませんか

⑩ 廃棄物の排出抑制と循環的利用の促進 29

- ・下水道汚泥を有機肥料として資源化 <市 下水道施設課>
- ・ごみの分別・リサイクル習慣 <入野 篁の郷>
- ・リサイクル市 <久芳地域センター>
- ・生ごみ処理機の導入 <入野光保育園>
- ・リユース市 <エコ・ページ>

⑪ 不法投棄防止対策の推進 31

- ・造賀クリーン大作戦 <造賀地域センター>
- ・環境美化教育 <市 指導課>
- ・小泉おそうじ隊 <小泉おそうじ隊（小泉新聞舗）>

⑫ 温室効果ガスの抑制に向けた総合的な取り組みの推進 33

- ・超小型電気自動車の導入 <市 環境対策課>
- ・地域のグリーンカーテン講習会 <竹仁住民自治協議会>
- ・～コラム～ 東広島産の食べ物で温暖化対策？

⑬ 新エネルギーの導入 35

- ・東広島芸術文化ホール「くらら」への太陽光発電設備等の設置 <市 生涯学習課>
- ・ペレットストーブの導入 <市 地域政策課・清武西地域センター>
- ・スマートハウス化支援補助制度、薪・木質ペレットストーブ設置補助制度の創設 <市 環境対策課>

⑭ 省エネルギーの推進 37

- ・黒瀬文化会館の空調機更新 <市 人権推進課>
- ・簡易水力発電装置の設置 <竹仁住民自治協議会>
- ・バイオマス利用で省エネ！ウッドガストーブをつくろう <ひがしひろしま環境家族>
- ・～コラム～ 家庭でできる簡単省エネ

⑮ 低炭素社会形成に寄与する事業の促進・支援 39

- ・こだわり米「清流の小田米」を活用した米粉パンの商品開発と販売 <農事組合法人ファーム・おだ>
- ・～コラム～ 六次産業化ってなに？
- ・ミミズコンポスト <光和商事（株）>
- ・エコマークの認定 <（株）サンヨーコーポレーション>

⑯ 地域を越えた連携と国際的な協力の推進 41

- ・国際ボランティア CIEE（国際教育交換協議会）との交流 <you 愛 sun こうち・広島大学 学生ボランティア団体 OPERATION つながり>
- ・福富町まちおこし <学生まちおこし団体ふくふく>

将来像3 環境を守り・伝える心と活動を育むまち

重点プロジェクト 3 意識向上・人材育成プロジェクト 43

- ・えひめAI環境学習 <東広島市公衆衛生推進協議会 福富支部・市 福富支所地域振興課・環境対策課>
- ・半尾川再生プロジェクト <エコネットひがしひろしま>
- ・～コラム～ 会員募集中！！エコネットひがしひろしま

17) 学校・家庭・地域などでの環境教育・環境学習の推進 45

- ・環境教育・環境学習の推進 <市 指導課>
- ・環境学習への参加 <造賀地区自治協議会 造賀女性会>
- ・国の特別天然記念物オオサンショウウオを通じた環境教育の推進 <豊栄小学校・東広島オオサンショウウオの会・株式会社サンヨーコーポレーション>

18) 利用しやすい環境情報の整備と発信 47

- ・住民自治協議会ホームページ <小谷小学校区市民協働まちづくり協議会>
- ・ホームページによる活動情報の発信 <エコネットひがしひろしま>

19) 環境保全活動への参加促進と取り組みの支援 49

- ・水辺教室 <you 愛 sun こうち>
- ・冬の水辺教室 <東広島市公衆衛生推進協議会 黒瀬支部>
- ・自然と遊ぼう！自然を食べよう！ <高美が丘小学校区住民自治協議会>
- ・沼田川体験 <すいすい倶楽部>
- ・ゆーすふるサンデー活動（省エネ体験） <小谷小学校区市民協働まちづくり協議会>

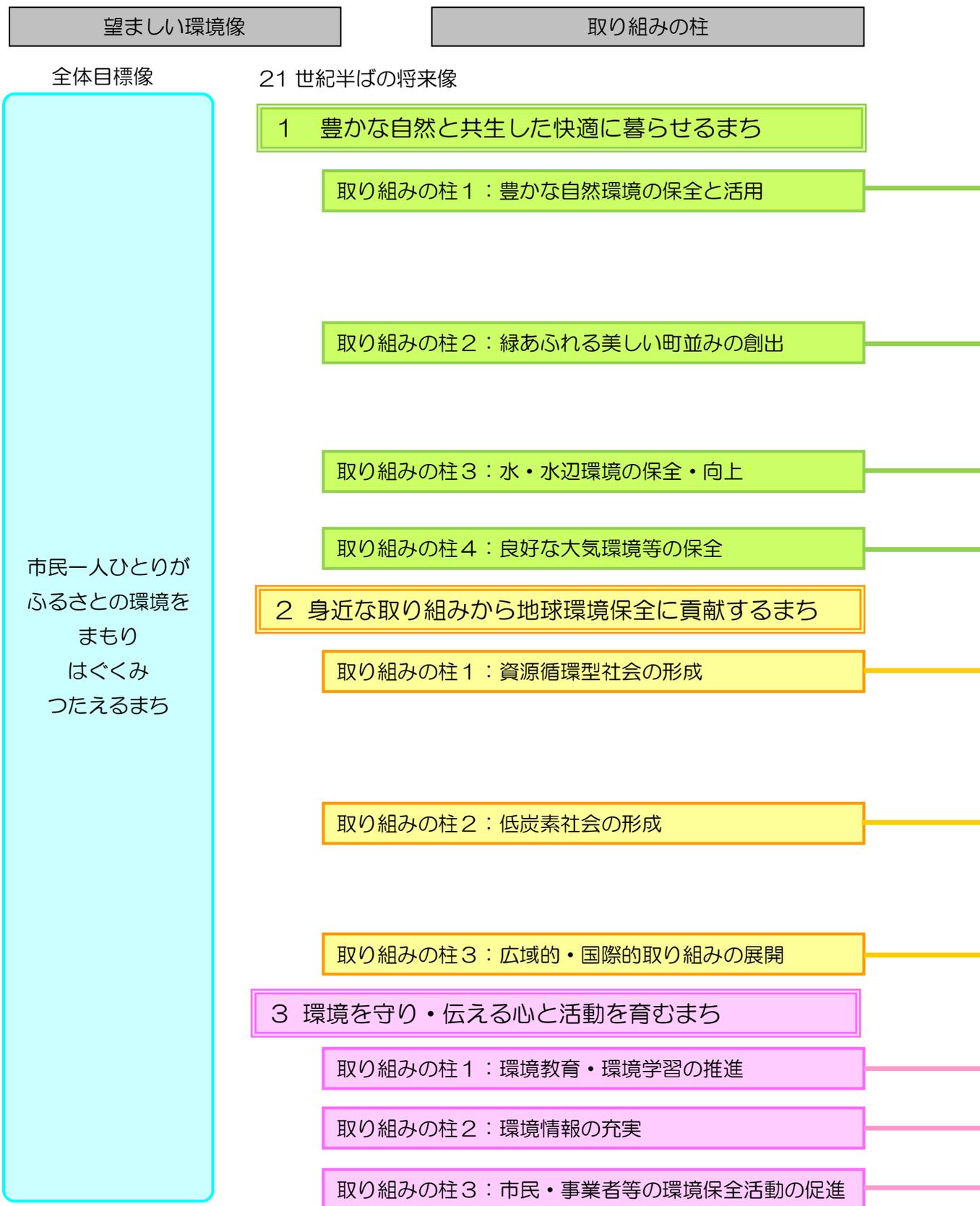
※ここまでに掲載している取り組みは、平成26年度か平成27年度に行われたものです。

☆ 東広島市の環境リーダー ☆

- | | | | |
|---|---------------|--------------------|----|
| 1 | バードウォッチング入門講座 | 東広島市の野鳥と自然に親しむ会 | 55 |
| 2 | 里山整備や里山資源の活用 | 賀茂地方森林組合 | 57 |
| 3 | えひめAI環境学習 | 東広島市公衆衛生推進協議会 福富支部 | 59 |
| 4 | 緑のカーテン講習会 | 川尻 伸宏さん | 61 |
| 5 | 「もみ殻くん炭」の活用 | エコINNくろせ | 63 |
| 6 | 省エネ相談 | 佐々木 圭一さん | 65 |
| 7 | 広大生と楽しく環境学習！ | 広島大学学生環境委員会 | 67 |
| 8 | シバザクラ育苗・植栽講習会 | 乃美エコクラブ | 69 |

I 東広島市環境基本計画の取り組みの体系について

環境基本計画では、下図の左側にあるように、東広島市が目指す姿として「望ましい環境像」を定めています。これを実現するために、以下に示す計画の体系に沿って、市・市民・事業者が協働で取り組みを進めていきます。



この冊子では、19個ある「取り組みの展開（テーマ）」ごとに、市・市民・事業者の取り組みを紹介しているよ。重点プロジェクトは、その中でも特に重点的に進めていく取り組みなんだポン。



取り組みの展開

重点プロジェクト

①人との関わりが深い自然環境の保全 (P.7)

②自然とのふれあいの推進 (P.9)

③生物多様性の保全 (P.13)

④市街地の緑の保全と整備・創出 (P.15)

⑤歴史・文化的資源と歴史的な町並みの保全・活用 (P.17)

⑥潤いのある市街地景観の創出 (P.19)

⑦健全な水質と水循環の確保 (P.21)

⑧水辺環境の保全とふれあいの創出 (P.23)

⑨きれいな空気や静かな環境等の保全 (P.25)

重点プロジェクト1
里地里山・田園・里海の
保全・活用プロジェクト
(P.5)

⑩廃棄物の排出抑制と循環的利用の促進 (P.29)

⑪不法投棄防止対策の推進 (P.31)

⑫温室効果ガスの抑制に向けた総合的な取り組みの推進 (P.33)

⑬新エネルギーの導入 (P.35)

⑭省エネルギーの推進 (P.37)

⑮低炭素社会形成に寄与する事業の促進・支援 (P.39)

⑯地域を越えた連携と国際的な協力の推進 (P.41)

重点プロジェクト2
資源循環・エネルギー
有効利用プロジェクト
(P.27)

⑰学校・家庭・地域などでの環境教育・環境学習の推進 (P.45)

⑱利用しやすい環境情報の整備と発信 (P.47)

⑲環境保全活動への参加促進と取り組みの支援 (P.49)

重点プロジェクト3
意識向上・人材育成
プロジェクト
(P.43)

II 重点プロジェクトの展開

II 重点プロジェクトの展開

(1) 重点プロジェクトとは

環境基本計画では、本市が特に重点的に推進していきたいと考えている取り組みを「重点プロジェクト」として設定しており、次のような位置づけとしています。

重点プロジェクトとは・・・

- 今後 10 年間で市・市民・事業者の協働で取り組むもの
- 環境基本計画の目指すところを広く市民に理解してもらうための、シンボルとなるもの
- 今できることから始めて、より大きな取り組みへとステップアップしていくもの

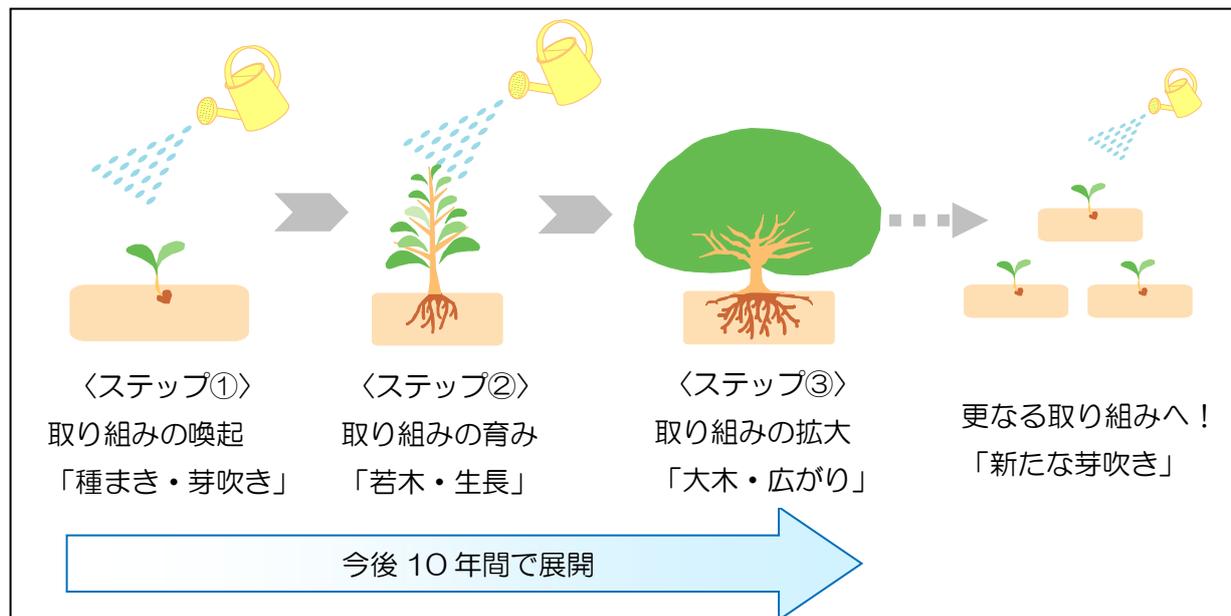
重点プロジェクトは、1～2ページで紹介した3つの「21 世紀半ばの将来像」ごとに、右のページのとおり、1つずつ設定しています。

これらのプロジェクトは、今後 10 年間をかけて市が市民や事業者の取り組みを喚起し、市・市民・事業者が一体となって取り組みを育み、より大きな取り組みへと広げていこうというものです。

(2) 重点プロジェクトの展開のイメージ

各プロジェクトでは、それぞれの段階を「種まき・芽吹き」、「若木・生長」、「大木・広がり」の3つの段階にイメージした取り組みを進めることを基本としています。そのイメージは下図のとおりです。

現在は、「種まき・芽吹き」や「若木・生長」の段階ですが、将来的には、これらの重点プロジェクトを発展させ、更なる取り組みへの「新たな芽吹き」につなげていきたいと考えています。



重点プロジェクト1 「里地里山・田園・里海の保全・活用プロジェクト」⇒ P.5

東広島市は、森林、農地、河川、ため池、海と人との関わりの中で育まれてきた、里地里山・田園・里海を有しています。また、本市は太田川や江の川など、多くの水系の源流域にあたることから、本市は「水が生まれるまち」と言え、隣接する市町の水環境や瀬戸内海の環境に対する大きな責任を担っています。

そこで、広域的な環境の保全につながることを念頭においた里地里山・田園・里海の保全・活用の取り組みを進めます。

【プロジェクトの取り組み】

Step Up!



- ステップ①川を通じて地域の環境を学ぶ
- ステップ②地域の里地里山・田園・里海を支える
- ステップ③相互に連携・協力する



重点プロジェクト2 「資源循環・エネルギー有効利用プロジェクト」⇒ P.27

東広島市は、ごみの排出量の削減と再資源化の促進による、資源循環型のまちづくりを進めます。特に、ごみと資源物の分別は市民の基本的なルールであり、100%の実施率を目指します。

また、地球温暖化防止に貢献するまちづくりのために、新エネルギーの利用や省エネルギー型のライフスタイルが当たり前のこととして日常生活に根ざしていくような取り組みを進めます。

【プロジェクトの取り組み】

Step Up!



- ステップ①みんなで取り組む3つのR
- ステップ②エネルギーの有効利用
- ステップ③目指せ「エコファミリー・エココミュニティ」



重点プロジェクト3 「意識向上・人材育成プロジェクト」⇒ P.43

環境に対する意識の持ち方は人それぞれです。東広島市では、意識の高い人はより高く、今は意識があまり高くない人はだんだんと意識を高めていけるように、日常生活の中で人々に浸透し、市全体に広がっていくような取り組みを進めます。

【プロジェクトの取り組み】

Step Up!



- ステップ①子供も大人も一緒に学ぶ
- ステップ②環境に配慮した事業者の育成
- ステップ③環境リーダーの育成と派遣



1 豊かな自然と共生した快適に暮らせるまち

重点!



重点1 里地里山・田園・里海の保全・活用プロジェクト

(1) 出前講座による啓発

実施主体	市（環境対策課）
<p>広域的な環境の保全につなげることを目的として、学校や地域を対象に次のとおり出前講座を実施しました。</p> <p>受講者の募集については、広報誌による周知や、地域・学校に出向いた際に直接働きかけを実施しました。</p> <p>平成26年度は延べ13件（小学校12件、地域住民1件）の出前講座を開講し、平成25年度実績に比べ5件の増加がありました。</p> <p>また、出前講座で学んだことを発展させ、学会発表を行った学校や、取り組みを発表し全国表彰される学校がありました。</p>   	
課題及び今後の方向性	
<p>地域向けの件数が少ないため、地域住民を巻き込んだ活動にできればと考えます。</p> <p>件数については、今のところ増加させることを目標としますが、市民への問題意識の浸透や地域に環境活動を先導できるようなリーダーが生まれることなどにより、徐々に件数が減少していくことが理想と考えます。</p>	

出前講座を受けてみませんか？

東広島市では、「地域の川に住んでいる生き物」や「川の汚れの原因」などを学べる出前講座を開催しています。

みなさんの地域へ市の職員が出向きますので、おおむね10人以上の団体であれば受講できますので、お気軽に環境対策課（TEL：082-420-0928）までお問い合わせください。



(2) 田植え・稲刈り体験

実施主体 **事業者**（農事組合法人さだしげ）

地域の子も達を中心に対象として、農事組合で所有している田を使って田植え、稲刈り体験を開催した他、もちつき大会やシイタケの植菌体験などの様々な農業にふれあうことができるイベントを開催しています。

田植え体験、稲刈り体験には、100名程度の参加があり、最初は泥の感触に戸惑っていた子ども達も、最後まで頑張って体験してくれました。

イベントを開催する一番の目的は、子ども達に地域の自然に触れてもらって、地域の環境や地域のお米を好きになってもらいたいという思いからです。

美味しいお米を作るためには、きれいな水が必要です。地域を流れる入寺川で、いつまでもホタルが住める環境を整えるために「ホタルの里づくり」を開催し、子ども達を中心に河川の清掃やホタルのエサであるカワニナの放流に参加してもらいました。

きれいな地域の水を守るためには、一人ひとりが水をきれいにする努力が必要です。私たちの活動を通して、多くの子供たちが、そのような気持ちを持ってもらえたらと考えています。



ホタルの里づくりの様子



1 人との関わりが深い自然環境の保全

～ 市・市民・事業者が協働で進める取り組みの方向性 ～

○森林の保全

地域による森林整備の取り組み等により、水源かん養機能や景観維持等、森林が有する多様な環境機能の保全を目指します。

○農地の保全

農地が農地として持続的に利用されるような取り組みにより、農地の多面的な環境機能（保水機能や生物の生息環境、田園景観の重要な構成要素等）の保全を目指します。

○海の保全

水産資源の持続的な活用を図りながら、自然環境としての里海の保全を目指します。

(1) 海域・海岸清掃活動

実施主体

事業者（安芸津漁業協同組合・早田原漁業協同組合）

各漁業協同組合では、三津湾やその海岸線で、毎年、夏から秋にかけて清掃活動を行っています。

三津湾内では、各組合員が漁船を出して浮遊物を回収し、海岸では、主に女性たちが漂着ゴミを回収します。

三津湾は、安芸津の特産品である牡蠣の養殖が盛んに行われている大切な環境資源です。この清掃活動を続けながら、三津湾の美しい風景を守っていきます。



(2) エコファーマー制度・環境保全型農業直接支払対策事業

実施主体

市（農林水産課）

○エコファーマー制度

持続性の高い農業生産方式（たい肥等による土づくりと化学肥料、化学農薬の低減を一体的に行いながらも、生産量や品質は水準を維持し、より良い営農環境を保っていくための生産方式）の導入計画を作成した農業者を認定しました。



・H26年度エコファーマー新規認定件数：10件 対象面積:12,395a

○環境保全型農業直接支払対策事業

エコファーマーで、地球温暖化防止活動等の環境保全効果の高い営農活動に取り組む農業者等又は有機農業者による販売を目的とした活動に対して支援しました。

・H26 年度交付金対象者数：21 件 対象面積:13,871a

課題及び今後の方向性

引き続き事業を行い、環境に配慮した農業への取り組みを支援します。

(3) シバザクラなどによる景観形成活動

実施主体 **市民** (千足池水利組合)

私たちの組合は、地域の水源である千足池を管理してきた水利組合の組合員を中心に、平成 24 年度に設立されました。千足池は東広島・呉道路の下三永福本 IC の東側に位置する総貯水量 450 千 m³ の大きな池で、組合構成員の農用地面積は 112.8ha にも及びます。

主な活動は、ため池管理や水路の泥上げなど農業用施設の維持管理を目的としたものの他に、女性会や子ども会等と連携して行う用排水路等の清掃活動や、地域住民一体となって取り組んでいるシバザクラ等の植栽による景観形成などです。シバザクラは、地域内の 3 割以上の農用地や施設の法面に植栽が行われており、最近では、春に満開となったシバザクラを見に来られる方が多くなりました。また、休耕田にコスモスやひまわりを植栽する取り組みも進んでいます。

農業用施設の維持管理以外にも、清掃活動や植栽活動などの農村地域の資源や環境を保全することを目的とした取り組みを進めたことで、農業者だけではなく、非農家も参加する地域ぐるみの活動として位置付けられました。

これらの活動を通して地域の連帯感が生まれ、話し合いの場が増すなど地域一帯の活性化につながっています。



※平成 26 年度には中国四国農政局から、同局長優秀賞を受賞しました。

2 自然とのふれあいの推進

～ 市・市民・事業者が協働で進める取り組みの方向性 ～

○自然とふれあうことができる場づくり

森林、川、ため池、海などの本市が有する多様な自然環境と、安全に楽しくふれあうことができる場づくりを目指します。

○自然とふれあえる機会や活動の充実

自然とふれあうことによって、自然環境に対する理解や愛着を深め、環境保全に対する自主的な行動の促進を目指します。

(1) ふるさと郷田の里山を大切に 心に残る植樹（東広島市森づくり事業）

実施主体

市民（ふるさと郷田の里山を育てる会・郷田小学校）



事業者（賀茂地方森林組合）

ふるさと郷田の里山を育てる会が中心となって、郷田の誇りである沖田嘉市さん縁の深道池・中の峠隧道近くに、ヤマザクラ、ヤマモミジ、ヤマボウシの三種類の苗木を計60本植樹しました。

一緒に植樹した郷田小学校の児童たちにとっても、この地は総合的な学習の時間に何度も訪れた親しみのある地で、児童たちは、育てる会や賀茂地方森林組合の方から指導を受けながら、協力し合って、一生懸命植樹していました。植樹した木の前には自分の名前をさし、「自分たちの木」という思いが強まったようです。

植樹後は、育てる会のメンバーが維持管理をし、児童たちは植樹した木を度々見に来てくれます。

植樹した苗木が大きく育つように、これからも地域で協力し、ふるさと里山を守っていききたいと思います。



(2) 竹林寺山道整備

実施主体	市民 (you 愛 sun こうち、広島大学 学生ボランティア団体 OPERATION つながり)
<p>竹林寺ふれあいウォーキングが開催されるのに先立ち、登山道の邪魔な草木を除去したり、登山者が歩きやすいようにスコップや重機などを使って道をならしたりしました。また、登山者にコースがわかりやすいように、道案内看板を設置しました。</p> <p>整備は何日かに分けて行いましたが、地域住民の他に大学生が応援で参加してくれたおかげで、とても作業がはかどりました。</p>	
<div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>	

(3) 東志和小学校みどりの少年団

実施主体	市民 (東志和小学校)
<p>東志和小学校では、全校児童が団員の「東志和小学校みどりの少年団」を結成しています。</p> <p>この少年団の活動には、学校を花いっぱいにする活動、保護者との清掃活動、地域の方に教わりながらの農業体験などがあります。</p> <p>地域の方や、地域の自然に関わる機会が増えたことで、児童たちには、地域の方への感謝の気持ちや、地域の自然を大切にしようという思いが今まで以上に芽生えてきているようです。2月には日頃お世話になっている地域の方々にプレゼントを配り、感謝気持ちを伝えました。</p> <p>これからも、全校児童で活動を続け、一人ひとりが自然を愛し、人を愛し、自らの社会を愛することのできる心豊かな人間に育ててほしいと願っています。</p>	
<div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>	

 このマークは、「エコネットひがしひろしま 会員」が主催などを行っている取り組みです。

1 豊かな自然と共生した快適に暮らせるまち

(4) 芋ほり体験

実施主体	市民（宇山地域センター）
<p>保護者と地域の人で、地域の内外から子どもたちを集めて芋ほり体験を行っています。</p> <p>芋を育てる畑は地域の遊休地を活用し、春には苗を植え、秋には芋を掘って収穫し、収穫した芋は、豚汁、天ぷら、焼き芋などの料理をして食べるなど、参加者のみなさんには様々な体験をしてもらいました。</p> <p>この体験を通じて、多くの人に宇山の自然に触れ合ってもらい機会となり、また、体験の畑に遊休地を活用することで、遊休地の減少につながる効果があります。</p>	



(5) つつじの里づくり

実施主体	 市民（デ・ベッソ）
<p>福富町内に多数自生している野生のつつじを守り育てるために山の手入れをする活動をしています。</p> <p>エコネットひがしひろしまの後援で、4月には「第4回つつじの里づくり体験版 一花を愛でつつじ、野草を食べんさんさいー」を開催し、44名の方に参加していただきました。この体験版では、講師に西村清巳先生をお迎えして、つつじ山の近辺で採取した野草の講義を受け、天ぷらにして食べました。</p> <p>また、10月には第5回の体験版を開催し、つつじ山の木の伐採、つつじの除草刈りなどを行いました。</p> <p>少しずつではありますが、皆さんの協力を得ながら、つつじの里の整備が進んでいます。一人でも多くの方の憩いの場となるように、地域の方々と一緒にこの活動を続けていきたいと思っております。</p> <p>※この活動は、市が交付する「市民協働のまちづくり活動応援補助金」が活用されています。</p>	



(6) 桜並木の定植・管理

実施主体	市民（若芝会）
<p>若芝会は、安芸津町大芝島で平成8年に設立された住民団体で、大芝島の環境を整備することを中心に活動しています。その中でも一番の活動は、大芝地区の桜並木を作る活動で、道路沿いに約300本の桜を定植し、年10回の施肥をするなどの維持管理をすることです。おかげで、毎年春には道路沿いにきれいな桜が咲き誇り、住民や来訪者の憩える散歩道となっています。</p> <p>これからも、住民や来訪者が安全で安心して楽しく交流できるように地域の良い環境を守って、一人でも多くの人に瀬戸内海を望む美しい大芝島の自然を楽しんでもらいたいと思っています。</p>	
	

(7) 「見上げてごらん夜の星を♪」観望会開催

実施主体	市民（見上夜星実行委員会）
<p>夏と冬の2回、上黒瀬小学校校庭と体育館で、ミニプラネタリウムによる星座の名前の学習や、天体望遠鏡による天体観測を行っています。</p> <p>このイベントは、地域住民と広島大学天文学研究会の学生が協働で開催していて、天文学研究会の学生が住民たちに星座などの説明をわかりやすくしてくれます。地域住民は、学生たちの話を聞き、普段は何気なく見ている星空から新たな発見や感動が生まれているようです。また、このイベントを通じて、地域住民同士や学生との交流が生まれています。</p> <p>きれいな空気であれば、きれいな星空を見ることはできません。特に子供たちには、きれいな空気を守って行くには何をしたら良いかを考える機会にもらい、いつまでもきれいな星空が輝く上黒瀬地区であってほしいと願っています。</p> <p>※この活動は、市が交付する「市民協働のまちづくり活動応援補助金」が活用されています。</p>	
	



このマークは、「エコネットひがしひろしま会員」が主催などを行っている取り組みです。

3 生物多様性の保全

～ 市・市民・事業者が協働で進める取り組みの方向性 ～

○生物多様性の保全

山から海に至る本市の多様な環境に適応した生物に対する認識を高め、生物多様性の保全を目指します。

(1) 希少生物の保全活動

実施主体

市民（住民自治協議会 四季の里 宇山）

地域に咲く希少生物が盗掘されたりやイノシシに荒らされたりして減少している状況を危惧し、「四季の里 宇山」の福祉保健部が中心となって、種からエヒメアヤメやイチリンソウなどの希少生物を育てています。

私たちは、平成22年7月にエヒメアヤメの種まきを始めて、花が咲いたのは4年後の平成26年4月でした。エヒメアヤメは花が咲くまでに年月がかかる品種で、各家庭で育てるのはいろいろと苦労があります。しかし、地域の希少生物は自然の財産であり、見られなくなることはとても寂しいことなので、みんなで力を合わせて再生に取り組んでいます。今後は、私たちが育てたエヒメアヤメなどの希少生物を、自生している場所の近くに移植することも考えています。

また、自生している希少生物を守る取り組みとして、希少生物の周りを柵で囲んで、イノシシから守る活動も行っています。

宇山は自然豊かな地域です。この自然をいつまでも残していけるよう取り組みを続けていきたいです。



エヒメアヤメの種まき



種から育てたエヒメアヤメ



イチリンソウの保護柵

(2) 自然散策道「発見の小径」

<p>実施主体</p>	 <p>事業者（広島大学総合博物館）</p>
<p>広島大学総合博物館は、キャンパスの豊かな自然も展示としたエコミュージアムです。博物館本館を中心にキャンパス内に点在するサテライト館を結んだ散策道“発見の小径”を整備しており、ここでは四季折々の自然の移り変わりを観察することができます。</p> <p>キャンパス内には絶滅危惧種を含む多様な生物が息し、先史時代以降の約 30 カ所にのぼる遺跡が見つかっています。たくさんの見所を含むキャンパスを、自由な発想で、いつでも利用できるのが発見の小径の魅力です。</p> <p>総合博物館では、「発見の小径 探検マップ」を配布し、様々なイベント開催や生物相のリストを公開（総合博物館研究報告参照）しています。詳しくはホームページをご覧ください。</p>	



発見の小径 探検マップ

(3) 文化財基礎調査事業

<p>実施主体</p>	<p>市（文化課）</p>
<div style="display: flex; flex-wrap: wrap;"> <div style="width: 50%; text-align: center;">  </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  </div> </div> <p style="text-align: center;">平成 9 年度から継続して、市内に残っている有形・無形を問わず、文化財についての実態把握のための基礎調査を行っています。</p> <p style="text-align: center;">現在、生物に関する調査成果について、報告書として刊行しているのは次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・『東広島市の巨樹-西条町，志和町，高屋町，八本松町-』（2006） ・『東広島市のコウホネ属植物』（2007） ・『東広島市の巨樹-豊栄町・福富町・河内町・黒瀬町・安芸津町-』（2010） ・『東広島市の水草』（2010） ・『東広島市の蝶』（2012） ・『東広島市のトンボ』（2013） ・『オオサンショウウオがいるらしい』（2015） 	
<p>課題及び今後の方向性</p>	
<p>天然記念物として保護する必要があるものは、文化財指定を検討する。</p>	

 このマークは、「エコネットひがしひろしま 会員」が主催などを行っている取り組みです。

4 市街地の緑の保全と整備・創出

～ 市・市民・事業者が協働で進める取り組みの方向性 ～

○市街地の緑の保全

公園や街路樹、生垣などを適切に維持・管理し、私たちの生活に潤いを与えるとともに、都市部における多様な生物の生息環境でもある、市街地の緑の保全を目指します。

○市街地の緑の整備・創出

公共施設や民有地等の緑化、公園の整備等により、市街地の緑の整備・創出を目指します。

(1) 地区計画による緑化推進

実施主体 **市**（都市計画課）

地区計画制度の活用により、周辺の環境に配慮した土地利用を図る中で、沿道の生垣化や緑地の設定などによる、地区内の緑化推進を図りました。

- ・地区施設の配置方針として、緑地を設けました。
- ・緑豊かな環境づくりのため、沿道の生垣化を推進するといった垣、柵の構造の制限を定めました。

平成26年度：御園宇滝原地区、寺家地区産業団地の地区計画の策定を行いました。



課題及び今後の方向性

周辺の市街化調整区域への環境負荷がかからないような地区計画の策定が課題です。

(2) 御園宇新町公園の維持管理

実施主体 **市民**（御園宇小学校区住民自治協議会）

市の里親制度を活用し、地域の方々が月2回公園の草刈り・溝掃除などの維持管理を行っています。

公園の景観を良くするため平成26年度に、桜と榎の木の植樹を行いました。

また、平成27年度は公園東側の斜面にシバザクラを植える計画もあり、地域の方の手によって公園が輝いています。



(3) 黒瀬川沿いの維持管理

<p>実施主体</p>	<p>市民（米満に桜を植える会）</p>
<p>年に4～5回、黒瀬川沿いに植えた桜の木の手入れを中心に土手の草刈りなど周辺環境の維持管理を地域の方々が協力しておこなっています。</p> <p>桜が咲く時期には地域の方々をはじめ、多くの方が花見を楽しむ等、地域の交流の場となっています。</p>	
 <p style="text-align: center;">維持管理</p>	 <p style="text-align: center;">桜の開花</p>

(4) 彼岸花の里づくり

<p>実施主体</p>	<p>市民（上戸野地区住民自治協議会）</p>
<p>上戸野地区では、昔から国道375号沿いなどに彼岸花を植える、「彼岸花の里づくり」に取り組んできました。彼岸の時期には、上戸野地区に彼岸花が咲き誇り、地域を真っ赤に染めています。</p> <p>これまでに、彼岸花を広範囲に植えてきたため手入れは大変になってきましたが、地域の人たちに身近な環境へ目を向けてもらうきっかけにしてほしいという思いで活動を続けています。</p> <p>地域の環境を守るには、地域の住民がやらなければなりません。今後、もっと彼岸花が見られる範囲を広がるように、この活動を受け継いでいきたいと思います。</p>	
 	

5 歴史・文化的資源と歴史的な町並みの保全・活用

～ 市・市民・事業者が協働で進める取り組みの方向性 ～

○歴史・文化的資源の保全・活用

歴史・文化的資源を大切に保全し、地域の歴史を学ぶ教材等として活用するなど、先人が私たちに残してくれた貴重な環境資源の保全・活用を目指します。

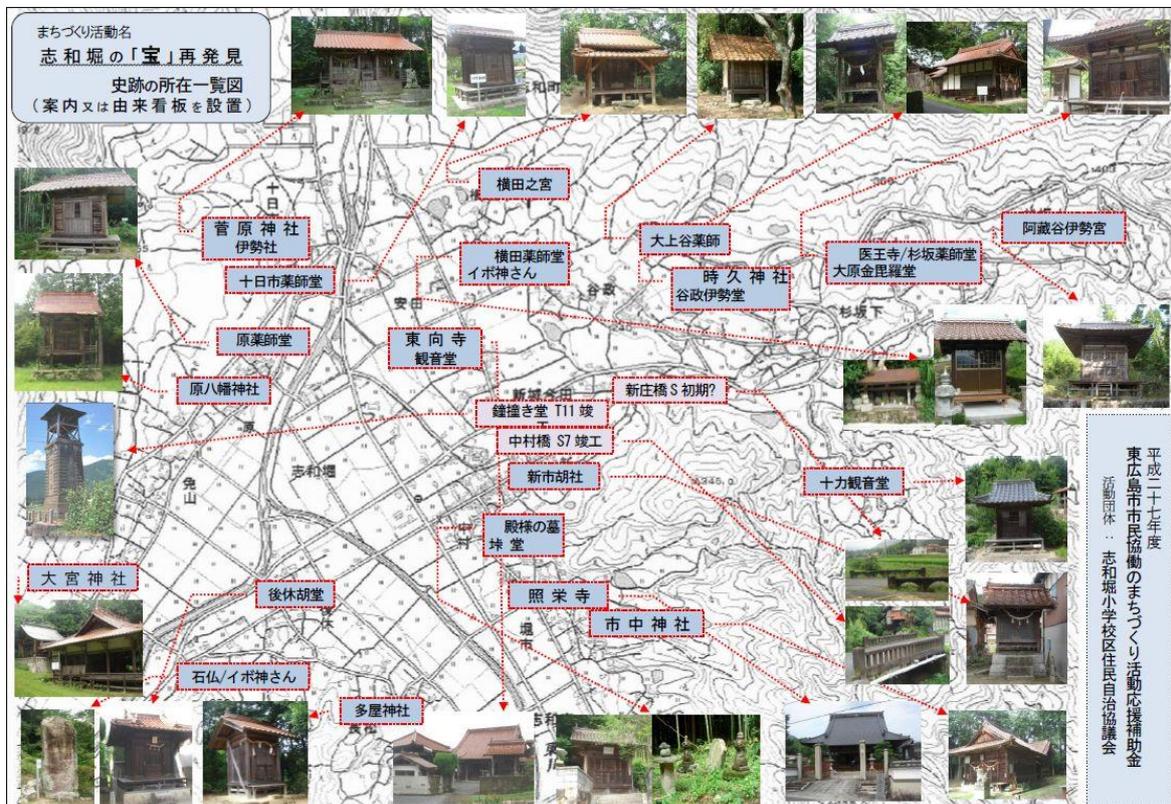
○歴史的な町並みの保全

西条の酒蔵通りや白市の町並みなど、本市が有する歴史的な町並みの保全と活用を目指します。

(1) 志和堀の「宝」再発見

実施主体 **市民** (志和堀小学校住民自治協議会)

志和堀は 14km²という狭い面積ですが、二十数箇所にも及ぶ「史跡」が残っており、非常に珍しい地域と言われております。しかし、これまではどこにどのような史跡があるかあまり知られていませんでした。志和堀の「宝」である「史跡」を多くの方々に知っていただくため、「志和堀の「宝」再発見」をテーマとして、平成 27 年度に「史跡」の「由来」「案内」看板を 24 箇所を設置し、埋もれていた史跡を掘り起し、郷土の魅力を発信しました。



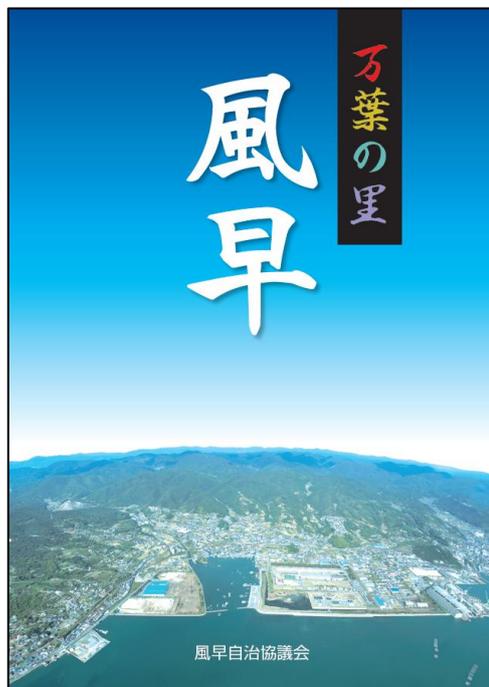
(2) 安芸国分寺歴史公園の整備

実施主体	市（文化課）
<p>史跡の保存・保全と活用を図るため歴史公園の整備を行いました。</p> <p>(1) 史跡を展望する展望テラス（面積 180 m²、排水工、芝張り、ベンチ2、説明板1）の整備工事を行いました。</p> <p>(2) 史跡の西側隣接地に駐車場（面積 1,242 m²、造成工・舗装工、大型バス2台、普通車20台、案内板1）の整備工事を行いました。</p> <p>(3) 上記により、安芸国分寺歴史公園の施設整備は終了しました。</p>	
課題及び今後の方向性	
<p>ハード面での整備は終了したので、より多くの市民に活用されるよう、各種ソフト事業を計画し、実施していく必要があります。</p>	



(3) 風早を紹介するパンフレット作成

実施主体	市民（風早自治協議会）
<p>自治協の教育文化部会が、風早地区の歴史、史跡、特産物、伝統行事などを紹介したパンフレットを作成しました。</p> <p>風早地区は万葉の故地としての歴史と伝統がありますが、地元の人でもその理解と関心が薄い状況です。このパンフレットを契機として、地域住民が地域の歴史と伝統に関心を持ち、郷土を大事にする気持ちを高めてくれたらと思っています。</p> <p>また、このパンフレットを通じて風早地区の魅力を発信して、風早を訪れる人を増やし地域の活性化を図りたいとも考えています。</p> <p>今後は、風早巡りウォーキングの実施や郷土史講座の開催を検討していきたいです。</p>	



6 潤いある市街地景観の創出

～ 市・市民・事業者が協働で進める取り組みの方向性 ～

○総合的な景観形成の推進

良好な景観形成のためのルールづくり等により、快適で質の高い町並みの形成を目指します。

(1) 高屋堀団地のフラワーロード

実施主体 **市民**（高屋堀団地・花壇作り同好会）

高屋堀団地では、自治会内のコミュニティ活動を通じて、団地周辺の緑化活動を推進することを目的として、平成18年春に団地下の市道脇に花壇作りを始めました。花壇を作る前は雑草が生い茂った場所でしたが、土を入れたり、レンガを並べたりして、3年かけて全長約200mの花壇を整備しました。

今では、定期的な花壇の草取りや水やり、6月と11月に季節の花の苗を植えるなどして、年間を通じて団地の住民や通行される方の心の癒しになればと思いつけています。

また、市道に面した法面にはシバザクラの整備も始めていて、これからますます花でいっぱいの高屋堀団地になっていきます。



(2) 「磯松 花咲かせ隊」活動

実施主体 **市民**（磯松中学校）

ボランティア活動を通じて、「生徒の自己肯定感を高めること」・「地域と係るきっかけを創ること」を目的に、生徒が自ら育てた花を、地域の保育所や諸施設約20箇所に配付する活動をしています。配布先や地域の皆様から、「いつもありがとう」、「次はいつ持ってきてくれるの」などの声かけをしていただき、生徒にとっては、大きな励みになっています。

これからも「花をいっぱい咲かせ隊」と、花づくりを続けていきます。



(3) フラワーロードの整備

実施主体	市民 （中組地区社会福祉協議会（中組平成会・なでしこ会））
<p>川上小学校西側の通学路約 100m に竹で作ったプランターに花を植えて「フラワーロード」として水やりや花の植えかえなど整備と管理をしています。</p> <p>今年も全部で 40 個ある竹のプランターをみんなで作り直し、花の植えかえをして通学路を花で飾りました。</p> <p>地域に、美しい環境と美しくやさしい心が育つことを願って、15 年継続して活動しています。</p>	
 	

(4) 豊栄町内花いっぱい運動

実施主体	市民 （豊栄中学校）
<p>豊栄中学校では、一人で3つの鉢を育てる、「一人三鉢運動」など、全校生徒で緑化に取り組んでいます。また、活動は、校内だけではなく、高齢者サロンや小学校、保育所などと連携して、豊栄町内一帯で行っていて、小学校の児童に花の育て方を教えることもあります。</p> <p>このような活動が認められて、平成 26 年度の全日本学校関係緑化コンクールの「学校環境緑化の部」で準特選を受賞しました。</p> <p>今後は、地域に花だけでなく地域の方に苗を贈ることなども計画中です。</p> <p>これからも、地域の方々と連携して、花でいっぱいの豊栄町を創っていきます。</p>	
 	

7 健全な水質と水循環の確保

～ 市・市民・事業者が協働で進める取り組みの方向性 ～

○健全な水質の保全

水を汚さない取り組みの実践等により、健全な水質の保全を目指します。

○適正な水循環の確保と水資源の有効活用

水源となる森林の保全や雨水利用等により、水循環の確保と水資源の有効活用を目指します。

(1) 水質改善モデル事業

実施主体 **市**（環境対策課）

○七ツ池の環境調査と環境学習

八本松町の「七ツ池」と池に流れ込む水路（上流から下流の間で3測点）の水質測定を行い、その結果を教材の一部として八本松小学校5年生の児童を対象に環境学習を実施しました。

測定の結果、人口密度が高い水路の下流側になるにつれて、水が汚れていたため、生活排水が主な汚れの原因だと考えられるという結果を得ました。



この調査と学習によって、児童たちは身近な環境に関心を持つことができたようです。また、水を汚すのもキレイにするのも自分たちの行動が大きく影響していることを認識してもらえました。

課題及び今後の方向性

これまで得られた調査結果や環境学習でのノウハウを出前講座にフィードバックし広く市内の環境学習へ活かしていきます。

(2) 下水道の普及啓発

実施主体 **市**（下水道管理課）

○下水道出前講座の開催

小学校10校（14クラス児童413人）を対象に下水道出前講座を行いました。

○東広島浄化センター等の見学

下水道施設の見学会について15回実施し、729人の参加がありました。

<p>(内訳)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・東広島浄化センター 10回 634人 ・安芸津浄化センター 3回 40人 ・福富浄化センター 1回 15人 ・黒瀬水質管理センター 1回 40人 <p>○下水道コンクールの開催</p> <p>下水道への理解を深めてもらうことを目的として、小・中学生から絵画及びポスターを、市民から標語を募集し、絵画ポスター140点、標語180点、合計320点の応募がありました。</p> <p>○環境フェアへの出展</p> <p>環境フェア2014へ出展し、下水道の普及啓発活動を行いました。平成26年7月に実施し、約2,500人の来場がありました。</p> <p>○訪問等による普及啓発活動</p> <p>東広島処理区の下水道供用区域内の下水道未接続の住民、約1,200世帯を対象に訪問等による普及啓発活動を実施しました。</p>	 
課題及び今後の方向性	
普及啓発活動については、今後も継続的に行う必要があります。	

(3) 竹炭を使った水質浄化

実施主体	市民 (吉川村づくり推進委員会)
<p>地域に手作りの炭窯があるため、その炭窯を活用して地域の小学生を対象に環境学習を行っています。炭焼き体験や、自分たちで作った竹炭を川に入れるなど、河川の水質浄化に役立っています。</p> <p>○古河川をきれいに</p> <p>吉川を流れる古河川に、炭入れを行いました。川の水が少しでもきれいになり、ホタルがたくさんいるような川になっていけばと思っています。</p> <p>○里山整備とも繋がっている</p> <p>炭焼きに使う竹や木は、地域の里山整備で切り出した木の中から、炭焼きに適したものを使っています。地域の山から切り出した素材を処分してしまうのではなく、地域の水質浄化に役立っています。</p>	
課題及び今後の方向性	
今後も吉川小学校と連携し、環境教育の時間などに、炭焼きを通して水質浄化や里山の整備について、考えてもらうきっかけにしていきたいと考えています。	



8 水辺環境の保全とふれあいの創出

～ 市・市民・事業者が協働で進める取り組みの方向性 ～

○水辺環境の保全と再生

川やため池、海などの水辺の自然環境を将来にわたって健全に保全するとともに、失われたり失われつつある水辺環境の再生を目指します。

○水辺とのふれあいの創出

安全に水辺とふれあえる場づくり等により、市民の憩いの場や、豊かな水辺環境の保全を考える場となる水辺空間の創出を目指します。

(1) ホタルの里づくり

実施主体

市民（上戸野地区住民自治協議会）

協力事業者（リコージャパン株式会社）

毎年、環境・景観部会が主体となって活動していますが、今年は地域でホタルが一番舞う福富ダム直下から親水公園までの環境整備活動を行いました。昨年までは、地域センターの上流側で「ホタルの里づくり」を行っていましたが、河岸の防災工事で三面張りになり、ホタルが住みづらい環境になったため、福富ダムの下流側に活動場所を移したのです。

この活動では、毎年地域の住民に加え、ボランティアで来ていただいているリコージャパン株式会社の皆さんの協力をいただき、河川の草刈り、彼岸花の施肥、ホタルのエサになるカワニナ採りなどを行い、河川やその周辺の環境整備に取り組んでいます。

もともと、このあたりは自然環境に恵まれた美しい所で、溪流にはホタルの他に、オイカワ、カワムツ、ヨシノボリ等の淡水魚が生息し、春には新緑、秋には紅葉を楽しむことができます。この環境をいつまでも守っていけるよう、引き続き活動していきたいと思っております。



(2) 椋梨川河川敷の石拾い

実施主体	市民 （広島大学 学生ボランティア団体 OPERATION つながり）
<p>平成26年の大雨で、椋梨川の河川敷にある池に溜まった石の除去作業を行いました。この作業は、「子供たちが安全に遊べないので撤去してほしい」と地元の方から依頼を受けて行ったもので、2日間で計12名が参加しました。</p> <p>除去した石は、小さいものからサッカーボールくらいの石まであり、手作業で運び出すのは大変でした。子どもやお年寄りの方には難しい作業だったため、大学生のマンパワーを活かすことができました。また、この活動を通じて、昼食をご馳走になる等、河内町の自治会の皆さんにお世話になりました。住民の皆さんには様々に声をかけていただき、仲良くなることができました。リバーサイドフェスティバルで安全に川で遊んでいただけるようお手伝いできて有意義でした。</p> <p>今後も河内町の住民の皆さんの要望に応えながら、交流を深め、様々な形で河内町に関わって行きたいと思います。</p>	
	

(3) 親子ふれあい川遊び

実施主体	市民 （自治組織ふれあいの里戸野）
<p>猛暑が続く夏。戸野老人集会所付近の沼田川河川敷で暑さに負けじと親子で鮎のつかみどりなどの水遊びを通じて身近にふれあえる水辺環境を満喫しました。</p> <p>地元の方はもちろん、戸野地域外からも多くの参加がありとても盛り上がりました。</p>	
	

9 きれいな空気や静かな環境等の保全

～ 市・市民・事業者が協働で進める取り組みの方向性 ～

○大気環境の保全

空気を汚さない取り組み等により、きれいな大気環境の保全を目指します。

○静かな環境の保全

日常生活や事業活動から騒音を発生させない取り組み等により、静かな環境の保全を目指します。

(1) 悪臭防止法に係る規制地域の指定等の導入

実施主体	市（環境対策課）
<p>東広島市環境審議会の答申を受け、本市の悪臭規制方針を決定しました。規制については、平成26年10月1日に告示し、平成27年4月1日に施行しました。</p> <p>規制の対象地域は市内全域とし、規制基準の程度については、住宅が多く集まる住居地域はやや厳しめ、それ以外の工業地域、商業地域及び農業地域では少し緩めの規制としました（廿日市市、三次市、庄原市と同じ規制内容）。</p>	
 <p>事業活動に伴うにおいが規制の対象です。</p>	
課題及び今後の方向性	
<p>規制が始まったばかりで、まだ事業者や市民の認識が浅い可能性があるため、必要に応じて事業者や市民に悪臭規制について周知を続けていきます。</p>	

(2) 野焼き防止対策（ダイオキシン対策を含む。）に関すること

実施主体	市（廃棄物対策課）
<p>1 野焼き指導</p> <ul style="list-style-type: none"> ・苦情者から電話等により、対応した件数は53件。 ・野焼きパトロールを適宜行い、現場にて口頭指導するなど対応しました。 <p>（晴天の日・乾燥した時期に、煙を目指して野焼き現場に行き市民に口頭指導を実施）</p>	
	
<p>2 ホームページに記事を掲載し、野焼き禁止の情報を発信しました。</p>	

課題及び今後の方向性

野焼きは消防関係（火災予防）、農林関係（農業の畦焼き）の部署とも関連があり、連携をとって野焼きは禁止されている事を周知します。

きれいなまちづくりキャンペーンの回覧文書の裏面に、野焼き禁止・不法投棄禁止の説明文書を掲載し、周知を図っています。

広島県内の大気の状態をチェックしてみよう！



広島県では、ホームページで県内の大気の観測状況をリアルタイムで公表しているんだポン。

特に関心の高い「オキシダント」や「PM2.5」の情報は、下のよう地図上でわかりやすく表示されているんだ。その他にも、「二酸化硫黄」や「二酸化窒素」などの測定結果が一覧表で公表されているポン。

リアルタイム時報（地図）

各測定局のオキシダントおよびPM2.5の1時間値（過去1日間）とPM2.5の日平均値（過去7日間）のデータをご覧いただけます。また、各地点の詳細情報「濃度時系列グラフ」では過去7日間の毎時測定結果データを折れ線グラフで表示します。

■測定項目を選択してください

- オキシダント（1時間値）
- PM2.5（1時間値）
- PM2.5（前日の日平均値）

■測定年月日を選択してください

2016年02月18日11時

■地図中アイコン説明

[μg/m3]	[m/s]
○ : 欠測等	○ : 微風
● : 0 ~ 15	↖ : ~ 3.0
● : 16 ~ 25	↗ : 3.1 ~ 6.0
● : 26 ~ 35	↘ : 6.1 ~ 9.0
● : 36 ~ 45	↙ : 9.1 ~ 12.0
● : 46 ~ 60	↖ : 12.1 ~ 15.0
● : 61 ~ 70	↗ : 15.1 ~
● : 71 ~	

■顔アイコン説明

[濃度の目安]

😊 とてもよい	~ 15
🙂 よい	~ 25
😐 ふつう（環境基準レベル）	~ 35
😓 少し高い	~ 45
😡 高い	~ 60
😡 かなり高い	~ 70
😡 注意喚起レベル	71 ~

測定局名: 東広島西条小学校
PM2.5 (1時間値)
12 μg/m3
濃度時系列グラフ
▼風向・風速
南・1.6 m/s

右のバーコード（QRコード）からスマートフォン・携帯電話で光化学オキシダントおよびPM2.5の直近の測定値情報をご覧いただけます。QRコードについてはお使いのスマートフォン・携帯電話によって操作方法が異なります。利用方法は、ご使用のスマートフォン・携帯電話操作マニュアルをご覧ください

広島県のHP（広島県大気情報ポータルサイト）を一部転載



大気の情報を検索してみるポン！

広島県大気情報ポータルサイト

検索

2 身近な取り組みから地球環境保全に貢献するまち

重点!



重点2 資源循環・エネルギー有効利用プロジェクト

(1) 「グリーンエコ入野」活動

実施主体 **市民** (入野小学校)

入野小学校では、「グリーンエコ入野」として、全校児童が一体となって省エネやリサイクルなど様々な活動に取り組んでいます。また、各学年でもテーマをもって、大切な環境を守っていくには何ができるかを考えています。

1 省エネナビを活用した節電

エコ委員会が、校内で消費した電力量を「省エネナビ」で毎日確認し、給食時間に放送を使って省エネの目標達成状況について報告しています。平成27年の6月の電気使用量は、平成24年の6月と比べて約35%減っているなど、全校児童の省エネ意識が高まっていると言えます。



〈省エネナビ〉

2 アルミ缶や紙パックの回収

家庭や地域と連携を図って、全校児童がアルミ缶の収集を行うリサイクル活動を行っています。また、全校児童が毎給食後に牛乳パックを洗い・乾かし・広げる活動をして、身近なところで行うことのできるリサイクル活動について考えました。



〈空き缶の回収〉



〈給食 牛乳パックの回収〉

3 グリーンカーテンの設置・管理

4 環境保護を呼びかけるチラシやポスター作り

5 地域活動への参加

(花いっぱい運動・入野駅前清掃)

6 こどもエコクラブ交流会参加



〈グリーンカーテン〉



〈環境保護を呼びかけるチラシ〉



〈花いっぱい運動〉



〈こどもエコクラブ交流会参加〉

(2) ごみ減量化及び資源化の推進

<p>実施主体</p>	<p>市（廃棄物対策課）</p>
<p>1 出前講座を開催しました。</p> <p>① 出前講座 開催 39回 （参加者 1,446人）</p> <p>② ごみの減量啓発DVD貸出・インターネット配信</p> <p>③ 広報紙への連載・ホームページ配信</p> <p>2 古着古布の拠点回収しました。 約14トン回収</p> <p>3 使用済小型家電の回収事業を導入しました。 国の実証事業として実施し、約2.4トン回収（11月～2月の4ヶ月）しました。</p> <p>4 広島中央環境衛生組合管内での連絡調整をしました。 東広島市、竹原市、大崎上島町の2市1町が連携して、今後のごみの減量施策等について協議しました。</p>	 
<p>課題及び今後の方向性</p>	
<p>減量啓発活動を継続して実施します。</p>	

ごみの減量について考えてみませんか

市では、「ごみの分別方法」や「ごみの減量化とリサイクル」についての出前講座を行っています。

この出前講座は、市の職員が地域や学校などに出向き、DVD やスライドなどを使って簡単に授業を行います。おおむね 10 人以上の団体であれば、大人の方からお子さんまで受講できますので、お気軽にお問い合わせください。

また、出前講座で使っている DVD は、市のホームページでもご覧になれますし、貸出もしています。

東広島市 ごみ減量 DVD

検索

インターネットで
検索してほしいポン！



DVD の一場面



10 廃棄物の排出抑制と循環的利用の促進

～ 市・市民・事業者が協働で進める取り組みの方向性 ～

○3Rを基本とした取り組みの推進

「ごみはできるだけ発生させない（発生抑制：リデュース）」、「いらぬモノは他の人や他の用途で使ってもらおう（再使用：リユース）」、「資源として使えるモノは使う（再資源化：リサイクル）」の3Rを基本とした資源循環型のライフスタイルや流通形態の定着を目指します。

(1) 下水道汚泥を有機肥料として資源化

実施主体	市（下水道施設課）										
<p>公共下水道の終末処理場から排出される下水道汚泥はすべて民間処理業者に委託し、有機肥料として資源化しています。</p> <p>平成 26 年度脱水ケーキ搬出量は 9,434 t でした。</p> <p>（内訳）</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td>東広島浄化センター</td> <td>8,670 t</td> </tr> <tr> <td>黒瀬水質管理センター</td> <td>518 t</td> </tr> <tr> <td>安芸津浄化センター</td> <td>148 t</td> </tr> <tr> <td>福富浄化センター</td> <td>42 t</td> </tr> <tr> <td>豊栄浄化センター</td> <td>56 t</td> </tr> </table>		東広島浄化センター	8,670 t	黒瀬水質管理センター	518 t	安芸津浄化センター	148 t	福富浄化センター	42 t	豊栄浄化センター	56 t
東広島浄化センター	8,670 t										
黒瀬水質管理センター	518 t										
安芸津浄化センター	148 t										
福富浄化センター	42 t										
豊栄浄化センター	56 t										
											
<p>汚泥が資源化されて販売されている、双葉三共(株)の「フタバソイル」と、(株)アルファ有機の「きくぞーくん」。</p>											
課題及び今後の方向性											
<p>今後も下水道の整備に伴い脱水ケーキ搬出量が増加することから、これに対応して下水道汚泥由来の有機肥料の普及促進が課題です。</p>											

(2) ごみの分別・リサイクル習慣

実施主体	市民（入野 篁の郷）
<p>入野地区では地域を挙げて各家庭でのごみの分別、お祭りやイベントで出たごみは各自持ち帰ることやリサイクル可能なものは入野会館のエコステーションに集めて搬出し、定期的に地域を回り資源回収に努めています。</p> <p>また、小学生 4 年生によるエコ標語が載っている高齢者の方にも分かり易いごみ収集日のチラシを作成・配布し、ごみの分別→リサイクル→減量が日々の生活に溶け込むような工夫をしています。</p>	
	

(3) リサイクル市

実施主体	市民 (久芳地域センター)
<p>地域住民の方たちが、着なくなった子ども服や、使わなくなったかばんやおもちゃなどを持ち寄れるスペースを地域センター内に設け、リサイクル品として展示しています。この取り組みは、地域センターを利用されている方の、「子どもが成長して着なくなった服を捨てるのは『もったいない』」という意見や、「地域の人たちが集まる場所で、リサイクルできるものを持ち込める場所を作ってほしい」という要望から始まりました。</p> <p>利用者の方からは大変好評で、すでに3年ほど続いています。地域センターが開いている時は、リサイクル品の展示スペースを開放して、自由に持ち寄ったり、持って帰ったりしていただけます。多くの皆さんに活用してもらい、リサイクルの輪を広げていきたいです。</p>	
	

(4) 生ごみ処理機の導入

実施主体	事業者 (入野光保育園)
<p>給食などで出た野菜などの残りを、生ごみ処理機を使って有機肥料化し、それを園内の畑に撒いて食物を育てています。</p> <p>また、園児たちは市が行う環境学習講座を受講し、ごみの減らすことや分別することの大切さを学び、今では教室に設置された2つのごみ箱に、きちんと分別してごみを捨てるようになりました。</p>	
	

(5) リユース市

実施主体	 市民 (えこ・ページ)
<p>リユース市は、「いらないものを再び価値あるものに」をテーマにした定例行事です。</p> <p>毎年卒業生から不要となった家具や電化製品を譲り受け、新入生たちに安く提供するという非営利目的の活動を行っています。</p> <p>春休み中に物品の回収や会場の準備などを行い、4月初旬に東広島キャンパスにて開催します。</p> <p>えこ・ページが行う最も大規模な活動です。</p>	
	

 このマークは、「エコネットひがしひろしま会員」が主催などを行っている取り組みです。

11 不法投棄防止対策の推進

～ 市・市民・事業者が協働で進める取り組みの方向性 ～

○環境美化活動の促進による不法投棄の防止

自分たちの暮らすまちを清潔に保つため、多くの市民が環境美化活動に参加することで、ごみのポイ捨てや不法投棄をしにくい、清潔な環境づくりを目指します。

(1) 造賀クリーン大作戦

実施主体 **市民**（造賀地域センター）

造賀地区では、約25年前、ごみを資源に変える地域の取り組みとして、新聞雑誌・ダンボール・カンを、小学校のエコステーションに持参する活動を始めました。また、「造賀クリーン大作戦」として、地域の清掃活動と、資源ごみを売却した収益金を活用し地域に花を咲かす花いっぱい運動を展開しました。造賀地区では、国道375号沿いや、すみよし公園を中心に、1年を通して、季節の花がきれいに咲いています。

今では、これらの取り組みが全市的に広がり、6月の第2日曜日にきれいなまちづくりキャンペーンとして清掃活動が行われています。



(2) 環境美化教育

実施主体 **市**（指導課）

○学校の魅力アップ事業

小学校5校（西志和、板城、川上、志和堀、上黒瀬）、中学校7校（高美が丘、磯松、松賀、黒瀬、豊栄、河内、安芸津）の計12校が、学校の魅力ある教育活動を支援する魅力アップ事業を活用し、緑化活動や掲示の工夫を行いました。

取り組みを通して、児童生徒の美しい学校環境づくりに対する参画意識や成就感を持た



せ、植物を愛する心情も育てることができました。また、技術科の栽培の授業を中心に育てた菊や花は文化祭等で展示し、学校の教育活動を地域へ発信しました。生徒作品は保護者・地域の方から絶賛されました。

このように、取り組みを通して、学校等の環境美化に貢献するだけでなく、保護者、地域にも取り組みを発信することで、環境美化への意識を高めることができました。



(3) 小泉おそうじ隊

実施主体 **市民** (小泉おそうじ隊 (小泉新聞舗))

小泉おそうじ隊では、平成 20 年 3 月から、毎年、春のお花見時期前の 3 月と、秋の東広島最大のお祭り「酒まつり」が開催される 10 月に、西条駅周辺を中心に街の清掃活動を行っています。

参加者は年々増えており、近隣の方だけではなく、広島大学のアメフト部の学生や、JICA 広島留学生の方々もボランティアとして参加してくれていて、今では、100 名余りの方と一緒に取り組んでいます。

最近では、回収するゴミの量が減ってきているので、この活動で街中にゴミが目立たなくなり、不法投棄を抑制することにもつながっているように感じます。

「小泉おそうじ隊」の開催については、小泉新聞舗が発行する「小泉新聞瓦版」に掲載しています。どなたでも参加できますので、どうぞお気軽にお越しください。



※小泉おそうじ隊は、平成 27 年度に東広島市公衆衛生推進協議会から公衆衛生活動優良団体として表彰されました。

12 温室効果ガスの抑制に向けた総合的な取り組みの推進

～ 市・市民・事業者が協働で進める取り組みの方向性 ～

- 地球温暖化防止、低炭素社会構築のための仕組みづくり
地球にやさしいライフスタイルへの転換など、市民一人ひとりの知恵と工夫により地球温暖化の防止や低炭素社会を実現していくための効果的な仕組みづくりを目指します。
- 二酸化炭素吸収源対策の推進
適切な森林の育成・管理等により、温室効果ガスの大部分を占めている二酸化炭素の吸収源となる、森林の環境機能の保全を目指します。
- 地産地消の促進
地場農産物の販売促進や学校給食、飲食店での利用拡大等により、フードマイレージの削減にもつながる地産地消の促進を目指します。

(1) 超小型電気自動車の導入

実施主体 **市**（環境対策課）

温室効果ガスの抑制に向けた行政の率先行動として、新たに1人乗りの超小型電気自動車10台を公用車に導入しました。

近隣への用務や道幅の狭い地区での移動手段として活躍しています。

車両の配置：本庁5台、支所4台、消防署1台



(2) 地域のグリーンカーテン講習会

実施主体 **市民**（竹仁住民自治協議会）

平成27年5月にグリーンカーテン講習会を行い、育て方はもちろん、グリーンカーテンは日差しに含まれる身体に有害な物質を吸収することや、葉の蒸散作用により涼しくなる効果がある事を学びました。

この夏40のご家庭がグリーンカーテンに取り組み、省エネと緑化活動に取り組みました。



東広島産の食べ物で温暖化対策？

地域で生産された農林水産物をその地域で消費することを「**地産地消**」といいます。この「**地産地消**」が温暖化対策につながるというのです。なぜでしょう？

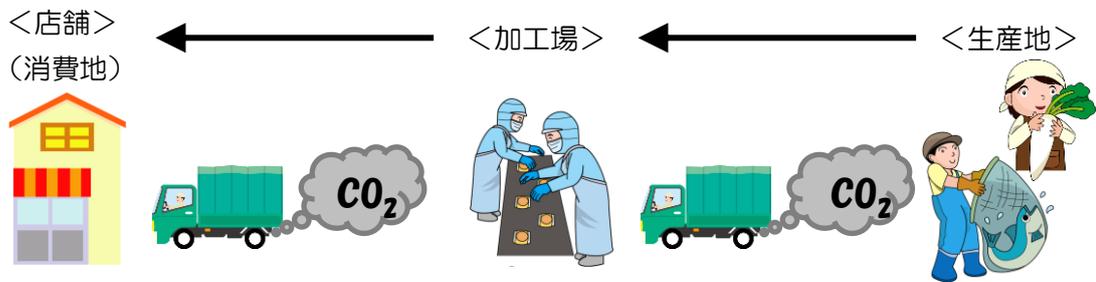


それは、食べ物を運ぶ時に出されるCO₂（二酸化炭素）などの温室効果ガスの量に関係するんだポン！

遠くで生産された食べ物を東広島まで運ぼうとすると、食べ物を運ぶトラックや鉄道などから発生するCO₂（二酸化炭素）が多くなってしまふよね。

東広島で生産や加工された食べ物を選ぶと、運ぶ距離が短くなるから、排出されるCO₂が減って、地球にもやさしくなるんだポン。

【生産から消費までに発生するCO₂のイメージ】



東広島市では、市内で生産・水揚げをされた農・水産物を積極的に取り扱って、市民の皆さんに「東広島産」をアピールするお店を「**地産地消応援店**」に認定しているポン！

市のホームページにお店のリストを掲載しているので、検索して、いろいろな「東広島産」に出会ってほしいポン！



地産地消応援マップ 東広島

検索

13 新エネルギーの導入

～ 市・市民・事業者が協働で進める取り組みの方向性 ～

○新エネルギーの導入の推進

東広島市に適した新エネルギーの導入やエネルギーの地産地消を推進し、低炭素社会の実現を目指します。

(1) 東広島芸術文化ホール「くらら」への太陽光発電設備等の設置

実施主体 **市**（生涯学習課）

東広島市芸術文化ホール「くらら」へ太陽光発電設備と蓄電池を設置しました。平成27年12月から開館に向けた各種準備で使用を開始し、平成28年4月の開館から本格的な運用を始めます。

（設備能力：太陽光発電 30kw、蓄電池 33.7kw）

東広島市芸術文化ホール「くらら」



課題及び今後の方向性

太陽光発電設備等の活用（再生可能エネルギーの利用）により、平常時に必要な電力の一部を賄うことで光熱費及びCO₂の削減を図ります。また、あわせて設置する蓄電池を活用して昼間に発電した電気を蓄電池に貯め、災害時に避難施設として必要となる照明器具や通信機器等の電力を確保します。

(2) ペレットストーブの導入

実施主体 **市**（地域政策課）

平成27年11月に、「清武西地域センター」の体験工房室へ木質ペレットストーブを設置しました。

（設備能力：暖房出力 1.9～6.5kW、熱効率 84～86%）

※株式会社さいかい産業 FF 式温風ファンヒーターSS-5



課題及び今後の方向性

施設利用者へのPRを図ります。

(3) スマートハウス化支援補助制度、薪・木質ペレットストーブ設置補助制度の創設

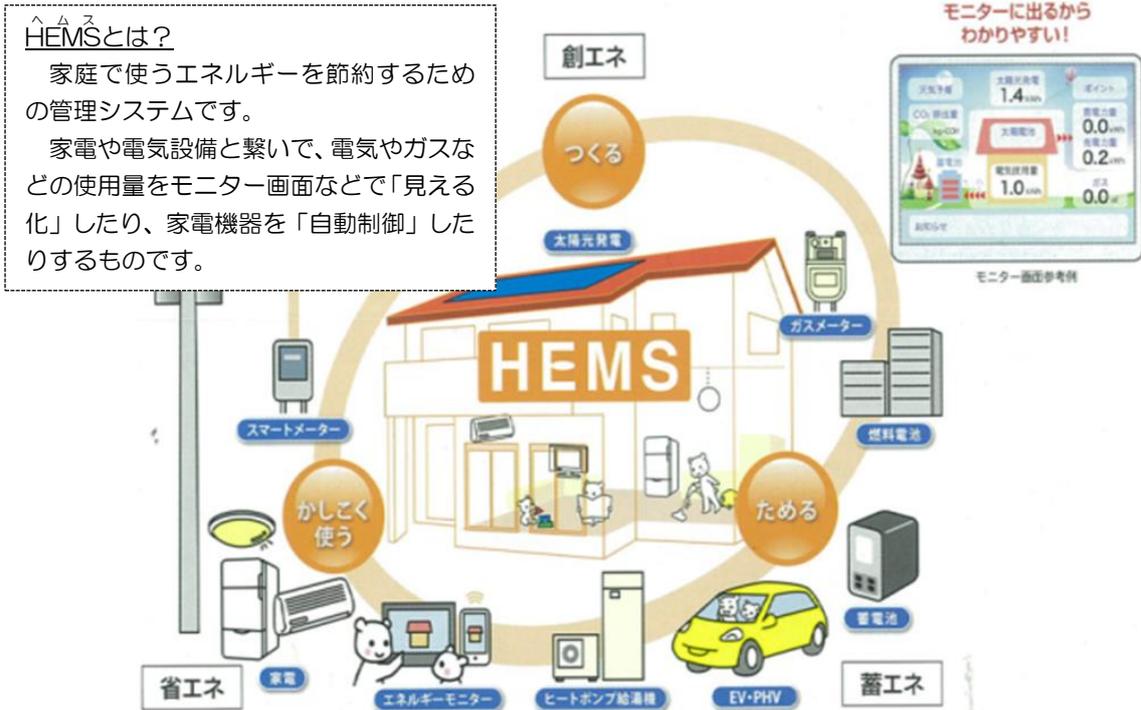
実施主体	市（環境対策課）
------	----------

平成 27 年度に、スマートハウス化支援補助制度と薪・木質ペレットストーブ設置補助制度を創設しました。

(1) スマートハウス化支援補助制度

住宅のスマートハウスの普及を目的とし、設備の設置に係る経費に対して補助を行うものです。補助対象設備等の詳細については、次のとおりです。

補助対象設備	要件
①住宅用エネルギー管理システム (HEMS)	
②太陽光発電システム	HEMSと併せて設置すること、 又はHEMSが既設であること。
③定置用リチウムイオン蓄電システム (蓄電池)	
④家庭用燃料電池システム (エネファーム)	



(2) 薪・木質ペレットストーブ設置補助制度

薪ストーブ及び木質ペレットストーブの設置に係る経費に対して補助を行うものです。補助対象設備等の詳細については、次のとおりです。

補助対象設備	補助見込件数
①薪ストーブ (二次燃焼機能を有するもの)	30件
②木質ペレットストーブ	

14 省エネルギーの推進

～ 市・市民・事業者が協働で進める取り組みの方向性 ～

○省エネルギー活動の推進

市民一人ひとりがライフスタイルを見直し、日常生活や事業活動における省エネルギー活動を推進することにより、低炭素型社会の実現を目指します。

(1) 黒瀬文化会館の空調機更新

実施主体 **市**（人権推進課）

黒瀬文化会館の老朽化した既存の空調機（6台）を2015年省エネ基準値クリア商品（5台）に更新しました。これにより、使用電力を7,951kwh/年、CO₂排出量を5,717 kg/年削減できる見込みです。



(2) 簡易水力発電装置の設置

実施主体 **市民**（竹仁住民自治協議会）

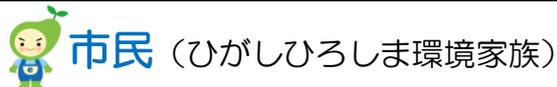
竹仁小学校の玄関前～中庭を流れる水路に「エコピカ」という、簡易水力発電装置を取り付け、竹仁小学校の全校児童に発電の仕組みを説明する学習会も開催しました。

水の力でモーターを回し、街灯（LED）が明るく灯る自然の力を体感しました。



(3) バイオマス利用で省エネ！ウッドガストーブをつくろう

実施主体



木の枝や松ぼっくりなどのバイオマスを利用して燃焼させるウッドガストーブを作るイベントを開催しました。

ウッドガストーブの特徴は、木を燃やす時に発生する可燃性ガスを残さずに燃焼させるため効率がよく熱を発生させることができます。また、木の蒸し焼きで作られている炭と同じく、燃焼時に煙が発生しないため、煙の臭いで周辺に迷惑をかけることはありません。

参加者には親子連れの方が多く、苦勞しながらもみんな楽しそうにウッドガストーブを作っていました。完成したストーブは、上に網を置いて食べ物を焼くこともできるので、最後はみんなで、バナナやマシュマロを焼いて食べました。

また、この他には、省エネルギー普及指導員の新宮原充先生に「省エネと私たちの環境」というタイトルで講話をいただき、省エネについて改めて考える機会となりました。

これからも、このようなイベントを通して、多くの人たちに省エネルギーについて考えてもらえるような機会を作っていきたいと思います。



※この活動は広島県省エネ活動促進補助金事業です。

家庭でできる簡単省エネ



家庭内でも簡単にできる省エネがたくさんあるんだよ。例えば、

「冬の暖房時の設定温度を 21℃から 20℃に変更すると、

年間で電気 53.08kWh の省エネ、電気代は約 1,430 円の節約になるポン！

(※1日の使用時間が9時間で、2.2kWのエアコンを使用した場合)

他にも、「白熱電球から LED ランプに交換する」、「テレビは省エネモードを活用する」など、家庭でできる簡単な省エネがたくさんあるので実践してほしいポン！



このマークは、「エコネットひがしひろしま会員」が主催などを行っている取り組みです。

15 低炭素社会形成に寄与する事業の促進・支援

～ 市・市民・事業者が協働で進める取り組みの方向性 ～

○環境ビジネスや環境に配慮した産業活動の展開

環境ビジネスの起業や環境配慮型の産業活動を展開し、環境負荷の低減や低炭素社会の形成を目指します。

○東広島産環境ビジネスの創出

大学や試験研究機関、先端技術企業等、様々な産業が集積する「国際学術研究都市」としての強みを活かして、独創的・先進的な「東広島産環境ビジネス」の創出を目指します。

(1) こだわり米「清流の小田米」を活用した米粉パンの商品開発と販売

実施主体

事業者（農事組合法人ファーム・おだ）

特別栽培したこだわり米「清流の小田米」を加工した米粉と、自家産豆類、野菜、果実を使用して米粉パンを製造し、それを自社販売所（パン＆米夢）・産直市・量販店・広島エアポートホテル等で販売しています。これまで、地域の企業などと連携し、高い付加価値を生み出す米粉加工や、加工の技術習得などについて取り組み、多くの小田産の米粉パンを提供してきました。



環境への配慮にも取り組んでいます。

土作りでは、近隣の畜産農家と連携し、年間 1,500 t の牛糞堆肥を使用することで、化学肥料や農薬の使用量が半減しました。化学肥料などの使用が減ると、地域の水質が改善され、地域を流れる小田川ではホタルやカワニナなどが見られるようになりました。また、稲わらを畜産農家に提供し、牛糞堆肥を農地に施用することで、炭素を農地に固定化でき、地球温暖化の防止にもつながっています。

今後も、安全・安心な美味しい農産物の生産と小田地域に根ざした事業展開で持続的に地域活性化を図っていきます。

（平成 24 年度 六次産業化法に基づく事業に認定）

六次産業化ってなに？



農業や水産業などの「第 1 次産業」従事者が、製造や加工の「第 2 次産業」や、卸や小売などの「第 3 次産業」まで行うことを言うよ。それぞれの産業の数字を掛け合わせると、 $1 \times 2 \times 3 = 6$ となるから、「6 次産業」と言われているボン。

「6 次産業」に取り組む従業員が増えると、「地産地消」が進むから、低炭素社会の形成につながるんだボン！

※「地産地消」については、34 ページをご参照ください。

(2) ミミズコンポスト

実施主体	 事業者 (光和商事(株))
<p>家庭から出た生ごみは、汚い・臭いなどと敬遠されがちですが、もともとは私たちの生活に欠かせない栄養分をたくさん含んだ食べ物なので家庭菜園やガーデニング堆肥として利用することができます。</p> <p>そこで、当社では生ごみを少しでも堆肥化（リサイクル）して頂くための手段として環境に優しいミミズを使った生ごみコンポスト容器を開発しました。</p> <p>このミミズコンポストは、</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 臭わない 2. 電気を使わない 3. 安くて手頃 4. 場所をとらない 5. いつでも処理できる 6. 良質な堆肥が出来る <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div data-bbox="635 819 935 1043" style="text-align: center;">  <p>ミミズちゃん</p> </div> <div data-bbox="962 631 1369 1043" style="text-align: center;">  <p>ミミズコンポスト本体</p> </div> </div> <p>という特長があり、ゴミの減量にもつながります。1人ひとりの行動が地域を変えます。未来を変えます。小さいことからコツコツと、地球のために始めてみませんか。</p> <p>※当社は、ひがしひろしま環境フェア 2015 に出展し、「ミミズコンポスト」による生ゴミの減量効果などについてPR しました。</p>	

(3) エコマークの認定

実施主体	事業者 (株)サンヨーコーポレーション
<p>自社製品の「SCシルキーコットン」がエコマークの認定を受けました。</p> <p>エコマークとは、(公財)日本環境協会から、環境への負荷が少なく環境保全に役立つと認められた商品につけられる環境ラベルです。</p> <p>この製品は、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・繊維部分が綿 100%の製品 ・過酸化水素による酵素漂白綿であって、無塩素で蛍光増白剤を使用していない ・製品への化学物質の使用については、基準値を満たしている <p>という認定要件をクリアして認定されています。</p> <div style="text-align: right; margin-top: 10px;">  <p>SCシルキーコットン</p> </div>	


 このマークは、「エコネットひがしひろしま会員」が主催などを行っている取り組みです。

16 地域を越えた連携と国際的な協力の推進

～ 市・市民・事業者が協働で進める取り組みの方向性 ～

○市内における連携・協働

市内各地での個別の取り組みを、地域や業種の枠組みを越えた連携・協働した取り組みに拡充し、より効果的な取り組みの展開を目指します。

○広島県や近隣自治体等との連携・協働

広島県や隣接市町と連携・協働した取り組みにより、共有する環境の保全や環境に関する共通の課題の解決を目指します。

○国際的な連携・協働

産学官民が連携した積極的な国際協力の取り組みにより、地球温暖化の防止などの地球環境問題の解決に寄与することを目指します。

(1) 国際ボランティア CIEE（国際教育交換協議会）との交流

実施主体

市民 (you 愛 sun こうち、広島大学 学生ボランティア団体
OPERATION つながり)

地域住民と学生が協働で企画運営をして、8月に、広島大学の学生7人、国際ボランティア CIEE による留学生4人、地域外の小学生6人が集まり、河内の自然に触れ合う二泊三日の合宿を開催しました。

参加者は、大道山の竹炭工房での竹炭作り、陽だまり農園での農作業などを体験しました、最初は戸惑いながらも、慣れてくると楽しみながら作業してくれました。子どもたちは自然に囲まれて元気にのびのびと、留学生は日本の原風景に感激している様子で、終始夢中になって作業してくれました。

短い期間でしたが、参加者はいろいろな体験をして、河内町を満喫して帰って行ってくださいました。河内町の自然や全党的な日本文化を生かした、豊かな合宿となりました。



(2) 福富町まちおこし

実施主体

市民（学生まちおこし団体ふくふく）

私たちの団体は、市の職員の方から、「福富町のアイガモ農法の農家の方が『久芳小学校でのアイガモ農法の米作り』の人手が足りないので、手伝ってくれる学生を探している」との話をしていただいたことがきっかけで平成27年3月に立ち上げた団体です。

アイガモを使った農業は、アイガモが田んぼの中の害虫を食べてくれたり、アイガモのフンが稲の肥料となったりと、環境にやさしい農法で、福富町の久芳小学校では以前から行われていました。

私たちは、「アイガモ農法の米作り」どころか、米作り自体が初めてのメンバーが多かったため、慣れない作業に最初は戸惑いもありましたが、子ども達と田んぼの草刈り、みんなで横一列に並んでの田植え、収穫した稲の脱穀作業など、福富町の方々に教わりながら、楽しく作業することができました。

福富町の皆さんは、私たちを笑顔で受け入れてくださいます。また、福富町には長閑な田園風景、ゆっくりと流れる美しい川の水、そして、おいしい食べ物がいっぱいあることも、私たちが福富町に魅力を感じ、活動を続けている理由の一つです。

これからも、まちおこしを通じて、福富町の豊かな自然を守るお手伝いができればと思っています。

※この活動には、市が交付する「市民協働のまちづくり活動応援補助金」が活用されています。



3 環境を守り・伝える心と活動を育むまち

重点!



重点3 意識向上・人材育成プロジェクト

(1) えひめAI環境学習

実施主体

市民（東広島市公衆衛生推進協議会 福富支部）

市（福富支所地域振興課・環境対策課）

ヨーグルト、納豆、砂糖などを材料とした環境にやさしい微生物「えひめAI」の作り方や使い方を学ぶ環境学習を開催しています。

「えひめAI」に含まれる乳酸菌・納豆菌・酵母菌の微生物には、生活排水などに含まれる汚れを分解する力があり、使用する家庭や事業所が増えると、下水管や川の水がきれいになると言われています。

「えひめAI」は、食品から作る子どもにも安心して使ってもらえるものなので、これまでの環境学習には多くの親子の方も参加してくれました。「えひめAI」には、水をきれいにする他に、「生ゴミなどの消臭」や「家庭菜園などの肥料や虫よけ」などの効果もあり、親子でいろいろな場面で活用していただけます。

参加者からは、「水まわりのヌメリや臭いが気にならなくなった!」、「植物が丈夫になった!」などの声が聞かれ、好評です。

今後も、大人と子どもが一緒になって取り組めるこのような環境学習を広め、環境を守る意識を高めてもらうとともに、地域の環境リーダーの育成にも努めていきたいと考えています。

～福富のしゃくなげ館でも使用されています～

（館長さんのお話）

開館以来、浄化槽の排気口より時々異臭が発生し、苦情がありました。使用を開始して半月くらいで、浄化槽の匂いがなくなりました。流しのステンレスもきれいになり、汚れ落としとしても重宝しており、「えひめAI」を紹介してもらい大変感謝しています。引き続き、「えひめAI」を使用していきたいです。



環境学習の様子



排水口に流すだけで効果があります



しゃくなげ館外観

(2) 半尾川再生プロジェクト

<p>実施主体</p>	 <p>市民 (エコネットひがしひろしま)</p>
<p>今年度新たに「半尾川再生プロジェクト」を始動させました。このプロジェクトは、龍王山から西条市街地を流れる半尾川を拠点とした環境啓発活動を実施し、ホテル舞う酒蔵通りを実現しようというものです。</p> <p>半尾川の現状を把握するため、半尾川の川岸を憩いの森公園付近の上流から西条の街中まで歩いて調査し、その後、会場を移して、ワークショップ形式で「半尾川の再生」に必要な事柄を考えました。</p> <p>どんどん姿を変えていく西条の町と豊かな地下水を生み出してくれる龍王山をつなぐ「半尾川」を再生するプロジェクトを、今後も続けていきます。</p>	
	

会員募集中！！エコネットひがしひろしま

○エコネットひがしひろしまとは

市民・事業者・団体と市が連携・協力して、環境問題の改善に向けた実践・啓発活動に取り組み、持続可能な社会の実現をめざしたまちづくりを推進することを目的として設立されました。



まきおくん さきちちゃん

○主な活動内容

交流会の開催、環境・温暖化問題に関する出前講座、施設見学会、環境啓発イベント、簡易な省エネ診断、各種イベントへの出展など、地球温暖化対策にとどまらず幅広い活動を行っています。

○活動に興味がある方へ

興味のある方は会員の活動に参加して体験してみてください。そして活動内容に賛同される方は是非入会してください！一緒に地球温暖化対策に取り組みましょう！

活動内容などについてもっと詳しく知りたい方は、エコネットひがしひろしま で検索してホームページをご覧ください。



このマークは、「エコネットひがしひろしま 会員」が主催などを行っている取り組みです。

17 学校・家庭・地域などでの環境教育・環境学習の推進

～ 市・市民・事業者が協働で進める取り組みの方向性 ～

○あらゆる世代の環境教育・環境学習の推進

学校や家庭、事業所、地域における環境教育・環境学習を推進し、環境に配慮したライフスタイルや事業活動があたりまえのこととして実践される社会の形成を目指します。

○環境教育・環境学習に関わる人材の育成

環境教育・環境学習を支え、地域の環境保全活動のリーダーとなる人材の育成を目指します。

(1) 環境教育・環境学習の推進

実施主体	市 （指導課）
<p>社会見学等を活用し、エネルギー総合研究所等の外部人材により、環境学習を行う学校が増えました。また、総合的な学習の時間や4年生の社会科の学習を中心に東広島浄化センターへ見学に行くことで、環境水質についての学習を行い、環境の保全について理解を深めることができました。</p> <p>また、「環境エネルギー教室」「Eスクール」「環境学習サポート情報」などを積極的に学校に通知することで、環境についての理解を深めるための情報を発信することができました。</p>	
	
課題及び今後の方向性	
環境教育等の案内を通知し、環境教育・環境学習を積極的に推進します。	

(2) 環境学習への参加

実施主体	市民 （造賀地区自治協議会 造賀女性会）
<p>東広島市役所へ出前講座を依頼し、「台所から始める、エコライフ」と題した環境学習を開催、59人が参加しました。</p> <p>「エコライフ」とは、地球に負担の少ない生活をする中で、講座では「ゴミ問題について」と、「地域の川の水をきれいにすること」の2つのテーマについてお話を聞きました。</p> <p>講座に参加して、ゴミ出しや台所・洗濯・お風呂の生活排水などの私たちの生活が地球に負担をかけていることを認識するとともに、ゴミの分別や減量化に取り組む必要性や、造賀川を清流として維持するにはどうしたら良いか学びました。</p> <p>参加者からは、「台所から洗濯まで水回りを管理する私たちの意識や心がけの大切さを痛感</p>	
	

した」、「未来の子ども達のためにもゴミを減量して良い環境を維持したい」などという声が聞かれ、改めて地域の環境について考えるきっかけとなりました。

(3) 国の特別天然記念物オオサンショウウオを通じた環境教育の推進

実施主体	市民 （豊栄小学校・東広島オオサンショウウオの会） 事業者 （株式会社サンヨーコーポレーション）
4年生児童を対象に、平成26年度から豊栄町内に生息する国の特別天然記念物オオサンショウウオを通じた環境学習を開催しています。学校・保護団体・事業者が参加し、学習を進めています。	
○学習内容 川に入り、水中の生物や水質の保全について学習しました。オオサンショウウオと実際に触れ合うこともでき、貴重な体験となりました。講師には「東広島オオサンショウウオの会」の一員である広島大学総合博物館の清水 則雄先生をお招きし、授業をして頂いています。また、会のメンバーの方々が、児童が川に入るサポートを下さっています。学校からオオサンショウウオの生息地までの移動手段としては、豊栄町内に本社があるサンヨーコーポレーション様のご厚意により、バスをご用意頂きました。	
○これまでの成果 平成26年度には「第11回 日本オオサンショウウオの会 東広島大会」が豊栄町で開催され、児童が口頭発表を行いました。豊栄のオオサンショウウオについて、「学んだこと」「私たちにできること」を参加者に発表しました。また、校内の学習発表会でも、保護者や地域の方々に向け発表を行いました。平成27年度も引き続き学習を行っており、今年は他の生息地との比較などを行い、保全のため、自分たちにできることを考えています。 本学習を通じて、児童に「オオサンショウウオは豊栄が世界に誇る宝物だ」という感覚が生まれています。また、そのような「宝物」がすんでいる自分たちの故郷を誇りに思う気持ちが育まれていると感じています。	
課題及び今後の方向性	
豊栄は県内外でも数少ないオオサンショウウオの自然繁殖地であることが、平成27年度の学習を通じてわかりました。オオサンショウウオが繁殖できる環境を地域で保全するため、地域の方々へ本地域の特性をお知らせするなどして、地域と連動した活動にしていきたいと考えています。毎年少しずつステップアップができるよう、学習を深化・継続していくつもりです。	

18 利用しやすい環境情報の整備と発信

～ 市・市民・事業者が協働で進める取り組みの方向性 ～

○環境情報の収集・共有

東広島市の環境に関する情報はもとより、国内外の環境情報など、環境保全活動等の参考となる各種環境情報を収集し、子供から大人まで誰もが情報を共有できるような社会を目指します。

○環境情報の発信・交流

一方通行の情報提供ではなく、互いに情報を発信し、自由にやりとりができる、双方向型の環境情報社会を目指します。

(1) 住民自治協議会ホームページ

実施主体

市民（小谷小学校区市民協働まちづくり協議会）

私たちの協議会では、協議会独自のホームページを立ち上げ、地域のイベント案内や活動報告、小谷地区の施設、名所の案内などを掲載しています。

活動報告では、様々な部会の活動を掲載していて、環境保全に関わる活動としては「大丸目山遊歩道の補修整備」や、省エネ体験を行った「ゆるすふるサンデー活動」なども掲載しています。

今後も、環境部会をはじめ、様々な部会の活動

情報などを発信し、地域内外の方々に小谷の魅力を発信していきたいと考えています。

小谷小学校区市民協働まちづくり協議会

文字サイズ変更

小 中 大

メニュー

トップ

地域センター

H27事業計画（基本）

小谷紹介

各団体等の沿革

協議会等事務様式

過去の「協議会だより」

このページの訪問者数=通算"10421人"です。

検索

AND検索 OR検索

「大丸目山遊歩道の補修整備」活動 主催：環境部会

日時：平成27年7月19日(日)

大丸目山遊歩道の補修整備を参加者8名の協力により実施しました。環境部会計の村上さんのご主人が、土壌用の山土2tを提供してくれて、助かりました。作業は2tほぼ全ての土を300袋に詰めて、遊歩道へ投入しましたが、まだまだ遊歩道の痛みはひどく、後400～500袋の土が必要だと思われます。活動参加者8名（三好さん・塩谷さん・向谷さん・満手さん・天野さん・橋本さん・村上さん・中野さん）でした。猛暑の中大変ご苦労さまでした。

小谷まちづくり協議会

検索

(2) ホームページによる活動情報の発信

<p>実施主体</p>	 <p>市民（エコネットひがしひろしま）</p>
<p>ホームページでは、エコネットひがしひろしま会員の活動状況などをご覧いただけます。 ウェブサイトの利便性を改善するため、定期的に会議を開催し、ホームページをリニューアルしています。エコネットひがしひろしまホームページ http://go-eco.me/</p>	
 <p>The screenshot shows the homepage of Eco-net Higashi-Hiroshima. It features a header with the organization's name and logo, a main navigation menu, and several content sections including news, activity topics, and member information. The layout is clean and user-friendly, with a focus on environmental activities and community engagement.</p>	
	<p>○エコネットひがしひろしまのウェブサイトです。環境活動に関する情報が満載ですので、ご活用ください。</p> <p style="text-align: center;"> エコネットひがしひろしま で検索！ </p>

 このマークは、「エコネットひがしひろしま 会員」が主催などを行っている取り組みです。

19 環境保全活動への参加促進と取り組みの支援

～ 市・市民・事業者が協働で進める取り組みの方向性 ～

○環境保全活動への参加促進の仕組みづくり

気軽に楽しく、継続的に環境保全活動に参加できるような仕組みやプログラムの充実を目指します。

○環境保全活動への支援

環境保全活動の立ち上げや、既存の活動への支援の充実を目指します。

(1) 水辺教室

実施主体 **市民** (you 愛 sun こうち)

環境カウンセラーの保光先生を迎えて、河内小学校全児童を対象とした水辺教室を開催しました。この水辺教室は今年で10年目になります。

この教室では、児童が地域を流れる棕梨川に入って、川の流速や透明度を調べたり、棕梨川に住む水生生物の採集などを行いました。川に入った子供たちは、魚やエビなどを見つけ大喜び。採集した生物を種類ごとに分けると、棕梨川には、サワガニやヘビトンボなどのきれいな水に住む生き物が多くいることがわかり、棕梨川は水がきれいな川であることを学んでもらいました。

子供たちには、これからも地域のきれいな川を守ってもらいたいと願っています。



(2) 冬の水辺教室

<p>実施主体</p>	<p>市民（東広島市公衆衛生推進協議会 黒瀬支部）</p>
<p>将来を担う青少年とその保護者約 50 人を対象に、黒瀬水質管理センターの施設見学や、黒瀬川の野鳥観察を実施しました。この教室は、地域を流れる黒瀬川の再認識や、環境保全に対する意識を深めてもらうことを目的としています。</p> <p>施設見学では、家庭から出される汚水の処理方法の仕組みなどについて学び、野鳥観察では黒瀬川にやって来る鳥たちを、専門家の先生方の説明を受けながら、望遠鏡で観察してもらいました。</p> <p>参加者には、私たちの生活とは切り離せない水について、いつもとは違う視点で考えてもらう機会になったようです。</p> <p>東広島市公衆衛生推進協議会黒瀬支部では、夏にも水辺教室を実施しており、夏は、川に入って黒瀬川に住む生き物の採取や観察などをしてもらい、地域の自然に触れてもらっています。</p>	
 <p>黒瀬水質管理センターの施設見学</p>	
 <p>野鳥観察の様子</p>	

(3) 自然と遊ぼう！自然を食べよう！

<p>実施主体</p>	<p>市民（高美ヶ丘小学校区住民自治協議会）</p>
<p>高美ヶ丘公園や高美ヶ丘団地内の協働農園で、小学 3～6 年生向けに自然に触れあう講座を開催しました。本年度の参加者は 12 人で、年間通して 5 回開催しました。</p> <p>この講座では、実際に山に入って、食べられる植物、薬草や染料として使える植物、毒のある植物などについて学んでもらいました。ただ植物を見るだけでなく、それを子ども達にスケッチしてもらうことで、より記憶に残るよう工夫しました。</p> <p>食べられる植物は採って帰り、ナツハゼでジャムを作ったり、どんぐりパンやむかごごはんを作ったり、山菜の天ぷらを作ったりもしました。</p> <p>どんぐりについて勉強した回では、どんぐりを拾うだけでなく、日本には約 20 種類のどんぐりがあることや、そのうちそのまま食することができるのは 5 種類だけということなど、それぞれの回ごとに 1 つのテーマを掘り下げて学んでもらいました。ただ体験するだけでなく、自然について「学ぶ」ことを重視している講座です。</p>	
	

(4) 沼田川体験

<p>実施主体</p>	 <p>市民 (すいすい倶楽部)</p>
<p>すいすい倶楽部は川遊びが大好きな大人が結成したグループで、沼田川の水が水道用水として利用されている下流（三原市・愛媛県上島町）の町と交流をしながら地域の活性化を推進することを目的としたグループです。</p> <p>毎年3月には下流域の住民と一緒に道の駅「湖畔の里福富」の近くで植林交流会を行っています。</p> <p>活動の一つに小学生との交流もあり、地元の竹仁小学校 30 人の子ども達と沼田川探検を行いました。この体験では、子ども達と一緒に川に入って、川に住む生き物を捕まえたり、捕った生き物を観察するなどの体験をし、地元の川にはどのような生き物が住んでいるのか知ってもらい、この体験を通して、子ども達には河川環境について学んでほしいと考えています。</p> <p>普段、川で遊ぶことが無い子供たちは毎年、楽しみにしてくれているようです。私たちも、子供たちと一緒に魚捕りに夢中になってしまいます。</p> <p>いつまでもきれいな沼田川を守って行ける地域であるように、これからも続けていきたい活動です。</p>	
	
	

(5) ゆーすふるサンデー活動（省エネ体験）

<p>実施主体</p>	<p>市民 (小谷小学校区市民協働まちづくり協議会)</p>
<p>ゆーすふるサンデー活動の一環として大人子供たちあわせて 60 名が省エネ体験をおこないました。</p> <p>当日は省エネ講義を受講した後、めいめいが思いの LED によるスタンド作りに挑戦しました。この後自慢の照明スタンドを使うたびに省エネへの努力が一層強まるのではないのでしょうか。</p> <p>その後、竹原栽培漁業センター・太陽光発電等施設の見学を行いました。</p>	
	


 このマークは、「エコネットひがしひろしま会員」が主催などを行っている取り組みです。